京城日報

THE KEIJO NIPPO

大正八年十月七日（火曜日） 第四千三百十八號（一）

（年中無休刊）

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番
振替京城三〇〇番

十月六日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

佛下院條約可決

佛下院は三對三百七十二の多數にて講和條約を可決せり（巴里電報）

ウ氏容態不良

ウイルソン氏は三日朝容態不良となり醫師立會の上診察せり（華盛頓電報）

對新借款決議案

總統府財政委員會は新銀行團問題に就き討論會を開き左の事項を決議せり
一、政治借款と實業借款とは細密に區別す
二、大借款は之を新銀行團に仰ぐも小借款に對しては新銀行團は之を牽制する能はず
三、新銀行團は鹽税關税の例に倣ひ稽核員を設置す
其他數種の提案ありたるも未決に終りたり引續き近く再び開會あるべき豫定なり（北京電報）

唐代表辭任理由

唐紹儀は言明して曰く予が辭職を決心したるは南方側の有力者中にも明かに和議に對する誠意を缺けりと認め得べきもの、存在すること及び廣東、北京兩政府間に於ける秘密談判の進行（予は徹頭徹尾何等此秘密談判に與り關せず）により余が南方總代表たる地位は頗る不愉快なりたることに因ると（上海電報）

上海各界疏通成功

王總代表より靳總理に宛てたる電報に據れば各界に對する意思の疏通漸く頭緒を掌握し得たり唯閣議の手續に關しては俞政府の斡旋を俟つと靳總理は之れに對し各界を疏通し得たるは和平の空氣を濃厚ならしむるものにして閣議の手續きの如き亦總代表の盡力に俟つとの復電を發したり（北京電報）

邊防督辦處調査

邊防督辦段祺瑞氏は十二萬元の經費三箇月の期間を以て邊事調査に着手するに決定せり傅良佐、靳雲鵬氏等之れが委員たるべしと（北京電報）

國際勞働會議出席 我代表隨員決定

勞働會議出席の我が代表及び隨員に對し四日左の通り辭令ありたり（東京特電）

勅二等 鎌田榮吉
正六位 武藤山治
桝本卯平
外務事務官 皆川淳彦
內務書記官 河原田稼吉
農商務參事官 柴山勇三
農商務技師 小西正二
同 古瀨安俊
鑛務監督官 稲田廣正
大阪府理事官 平田紀一
勅三等 菊池武德
勅四等 工藤善助
醫學博士 金杉英五郎
勅四等 松井文太郎
法學博士 氣賀勘重
法學博士 上田貞次郎
勅四等 田村新吉
勅五等 鐘田文三
工學博士 五代龍作
醫學博士 綿川郎光
川崎巳之太郎
金子孝德
高城仲次郎
田中一貞
田中孝子
中上川三郎治
以上米國へ出張被仰付

石本會頭認可 就任諾否如何

滿鐵の大連市會にて市長第一候補者に當選したる石本鏆太郎氏に對し四日認可の指令ありたり併し氏は甞に選擧會席上に於て辭意を發表し決心頗る堅きものあるを以て就任を諾するや否や大なる疑問とせられ居れり之に對し當局は極力氏の就任を勸告しつゝあり（大連特電）

日銀利上理由 金融界大勢順應

日銀當局の談に曰く我が金融界は昨年休戰後一時沈衰したる人氣の恢復に伴ない本年は四五月頃より前途次第に繁忙たらんとする傾向を示し來れり爾來貿易の增加各種事業資金の增加物價騰貴等に依市場の餘裕資金は次第に吸收し去られ金融繁忙の傾向は徐々に其勢ひを加へ市場の金利漸次强含みとなり本行貸出も之れに伴なうて增加するの勢ひとなれり殊に八月末に於て本行普通貸出高可成り多額に上り九月末に於て一億八千萬圓を越過したり此金融狀態は既往の趨勢と四圍の狀況とに顧み此際一時的の事とは認む可らざるを以て茲に貸出日歩の引上を實行したる者なり（東京特電）

物價調査問題

物價調節問題は貴族院の警告より一轉政府の徹底的施設を見るに至らずやとも觀測さるゝが右に關し美濃部鮮銀總裁松平貴族院議員の談左の如し

徹底的調節 美濃部俊吉氏談

日本銀行の利上は時近金融界の狀勢より見て當然の措置なるが政府の物價對策の一なりとも見得ざるにあらず然し乍ら二厘程の利上が物價の調節に何程の影響あるかは疑問なり蓋し最近の商界は商品價格の騰貴に伴ない收利夥しく到底金利二三厘の昂騰位は影響せざるべし從つて通貨の縮少に先づく効果は薄しと見るを妥當とせん物價の暴騰は何分閑却し難き問題なれど如何にして調節すべきやは實に至難の問題なり通貨の大縮少は直に物價調節に効果あるべきもその通貨を如何にして縮少すべきかが又至難と云はざるべからず日銀金利を思ひ切りて引上げ市場金利を、又思ひ切りて高むるはその一方法ならんも然もその結果は當然公債社債の募集に甚大の障碍あり惹いてその害毒の波及甚からざるなり結局物價の徹底的調節は不自然なから主要商品を政府の管理に移し公定價格を定むるの外なかるべし唯日常生活必需品の政府管理實行並に公定價格の決定を行ひて物價の調節をなさざるべからざるや否やは俄に斷じ難き問題なり

結局微溫乎 松原直平子談

貴族院の物價調節警告の効果が如何なる形式によりて現はるべきかは俄に知り難きが研究會の眞意は先づ警告して政府の施設を見更に効果上らざれば新に何等かの方法を講ずべき豫定につき始めは處女の如く終りは脫兎に似たる勢ひを呈し來るやも知れず然も物價調節は各種の關係より見て此際徹底的の調節は非常手段を用ゐざる限り困難なるべく結局微溫的施設の儘經過するにあらずや聞く所によれば財政經濟調査會の如き今夏組織の際初顏合せをなしたるに過ぎざるが政府に於ても輿論に鑑み近く再會の豫定らし日銀の利上げも物價策の一方法ならんそれらの手段により幾許にても物價の調節を可能ならしめば國民生活上の慶事なり

鮮銀利上未定 銀行當局者談

日銀の利上は金融界の大勢上當然の措置にして寧ろ遲れ居るやの觀さへあり此際朝鮮銀行の最低金利が日銀との間に無靴となりたりとて直に引上ぐべき意向は有せず昨日の京日にも見へたる如く最近利上の決行をなしたるのみなれば唯今後鮮滿財界の大勢に於て資金の需要急激に增大し金融界の狀態利上げを必要とするに至らば何等かの方法を執るの必要を生ずべきもその時期は早くも出發期に入りたる後なるべしと思はる云々

鮮銀券制限問題 到底實行せられざるべし

政府の物價調節策の一として臺灣鮮銀兩銀行券の發行制限を實行するべしとの東京電報あり右につき鮮銀行某首腦者は曰く中央よりも又總督府よりも未だ何等かの通知なく或は何等かの誤りにあらざるか蓋し兩銀行券の發行制限と云ふも鮮銀の發行は少額につきその標目を鮮銀に置けるものと思はるれど鮮銀の發券は最近一億二千萬圓內外に留まり內地の十一億五六千萬圓の一部に過ぎず然もその流通地は朝鮮滿洲西伯利並に中部支那の一部まで包含し居れるなり此の如き地域に於て藏相の所謂信用通貨の流通乏しく殆んど現金通貨のみ流通され居る現狀より見て何等通貨多きに過ぐると云ふ理なし況んや鮮銀券の制限を行ひて果して幾干の物價調節を行ひ得るなるや云々

資金の需要 鮮銀某氏談

るや物價の大本は內地にあり鮮滿の物價は常に內地の價格に伴隨し居れり又鮮滿財界の發展は近來著しき現象にて各方面に於て資金を要しつゝあるの際なれば鮮銀としてはある程度まで緊縮の方針を以て進み居れり若此の上發券の制限を行ひ通貨の縮少を斷行する事ともならば鮮滿財界の蒙る打擊は蓋し深甚なるべく一般の反對到底防ぎ得ざるものあらん結局予は不可能の問題なりと云はざるを得ず唯現行の正貨準備に由る銀行券を先當するの非を鳴らしその意味に於ける銀行券發行の制限ならば政府の方針に順應し銀行としては兌換券を漸次金塊に變ずべき方針を執りつゝあり云々

水野總監引籠

水野政務總監は微恙の爲六日も登廳せず引續き官邸に於て加養中なり

財界閑話

鮮銀の中村組大口貸附も來年の夏までには全部決濟がつく事となつたらしい▲此の夏一千萬圓近い巨額の貸出しが回收不能と傳へられたとき鮮銀の一重役は云つてゐた「ナーニ擔保物を時價で見積れば鮮銀の損はないよ」▲唯此の夏から漸次財界が惡化して不景氣風が吹きまはり中村組の書き入れた擔保物を投賣してまで債務の決濟をせねばならなかつたら鮮銀も可なり痛手を負ふたであらう▲それも今日となつては『あゝだつたら』『斯うだつたら』と回想ですむやうになつたから鮮銀の爲にも中村組の爲にも結構だ中村組も事業の整理を思ひ切つてやつたらしい、然も主人の柿七郎と云ふ人は非凡な手腕を具へた人であるから又復ても旭日昇天の時代を現出し得るに相違はないと云ふ人もある▲栗氏が柿七郎君の長兄辰五郎君にもう一年も戰爭が續いたら打擊もなくすんだのじやらう』と聞くと▲君の曰く『一年遲れても二年遲れても結局同じさあの調子ですべてを大きくやつて行けばガタンと來る反動はそれだけ大きい譯だから……』▲して見ると存外早く來ただけ中村組の怪我は小さかつた譯だ

地方財界の好調 三井物産京城支店長 辻武美氏談

其の最高潮

六日着任せる三井物産京城支店長辻武美氏の談に曰く余は今回の來任が朝鮮への最初の來訪にして今の所朝鮮の事情に就て語るべきものを有せざるが內地財界に就て言へば相變らず好調を持續し居れりと云ふの外なく只內地の大都會に於る好調は既に其の最高潮を經過したりと觀測する向きなきにあらざるも地方に於ける好況は未だ是からのものあり地方に於ける好況は亦漸次大都會に打寄せ來り斯くて大都市に於ける好況は又當分持續するなるべし乎株式界綿絲布界の現狀に就て之を見れば蓋し思ひ半ばに過ぐるものあるべし殊に戰後の不景氣襲來に就ては一般に豫感せる所なるも交戰各國の經濟組織容易に復舊し難き現狀にして東洋方面に俄に物資の輸出を試むべくも見えず從つて豫期の不景氣も俄に來らず蓋し暫らく日本經濟界の活動は

獨り舞臺の

觀なきにあらず棉業に就て言へば米國の不作加ふるに天候の關係上棉花の不作を免れざるが如く大體に於ては紡績業の行はるゝあり此等は日本棉業にとりて一大强味と云ふべし

樺太殖産會社設立計畫

樺太拓殖の爲め資本金六千萬圓にて樺太殖産會社設立さる可く政府は炭山見積り價格二千萬圓を出資殘餘四千萬圓は民間資本に俟つ可く右會社法案は今期議會に提出さる可し（東京特電）

を得べし內地に於ても勞働問題なかく喧しく內地企業家に斷方の必要を感じ水力事業の企業ざるもの續々たり今後勞働問題は內地に於て益々高唱されんとするに當り勞銀の比較的低廉なる朝鮮に向つて企業せんとするは懸眼なる事業家の決して見逃さざる所なるべし

畜産技術官會議 ＝第四日＝

畜産技術官會議第四日は六日午前九時より總督府第二會議室に於て開會野口技師總裁の下に午前午後に亘り畜産事務に關し打合せを爲し四時散會したり

運賃引上問題 滿鐵京管局 安藤運輸課長談

多年の懸案

滿鐵京管局運輸課長安藤又三郎氏の談に曰く
近く施行さるべき滿鐵運賃値上の件は大體新聞紙所報の如くなるが其細目に亘りては不日發表の運びとなり居れり而して鮮鐵に於ける運賃値上の主要なる眼目は一、容積噸扱を開始すること二、從來の斤量扱噸扱の中噸扱を廢止したること三、最低運賃を制定したること四、生活必需品以外の運賃値上げをなしたること等にして容積噸の扱に就ては多年の懸案たりしも鮮特產物たる繩叺及び明太魚等に對しては特に相當率の割引を附すること、したり次に生活必需品とは米、麥、粟、薪炭、石炭、鮮魚、乾鹽魚を指したるものにて此種直接生活必需品に對して運賃値上をなさゞりしは食糧問題生活問題の上より見て大に考慮を加へたる所なり尚鮮內旅客運賃の値上をなさざりしは從前の運賃率を相當と認め朝鮮內としては其必要を認めざるに依れり

實彈射擊檢閱 富平附近にて近日施行

步兵第七十九聯隊にては本年度の實彈射擊教授たる檢閱射擊を十三、十四の兩日京仁線富平附近に於て施行する事に決定したるが夫れに先立ち十一、十二の兩日同地附近に於て中隊戰鬪射擊を運施すべく檢閱射擊には富塚聯隊長出張親しく檢閱すべしと

地税徵收成績

地税の納期切迫し來れるが民情不穩の地方もある際徵税成績に就き稅務當局は曰く旱害地方は當然免税せらるゝものあり又大減收地等に多少苦情はあるやも知れず惡觀の要なし蓋し地税の納入は地主之れをなし地主は兩三年來の豐作と穀價暴騰にて懷中膨脹し居り納税を拒むが如き狀態は見られざればなり云々

支那國際日

十月十日は支那共和國々祭日に相當するを以て當地支那領事館にては盛大なる祝宴を開催すべく目下準備中なり

仁取定款變更

來る十九日開會の仁川取引所臨時株主總會に附議の定款變更案は（一）仲買人の身元保證金三千圓を一萬圓に增額する事（二）相談役及ひ檢查役は當所株主中より役員會に於て選任しその任期を一年とする事なりと

守備隊視察

步兵第四十旅團長堀田少將は足立副官を隨へ四日朝出發忠州公州各地駐屯の守備隊狀況を視察すべしと

辭令 十月四日附左の通り辭令ありたり

任總督府事務官 警保局事務官 安武直夫
任總督府事務官 石川縣理事官 半井清
任總督府事務官（六等） 大阪府理事官 黑木吉郎
總督府事務官 安武直夫 總督府殖産局勤務を命ず
總督府事務官 半井清 總督府學務局勤務を命ず
總督府道事務官 黑木吉郎 京畿道勤務を命ず

東洋電氣企畫

當地川北電氣企業會社重役の主唱にて支那上海方面に於いて資本金五百萬圓の東洋電氣株式會社を設立し川北電氣上海支店及び廈門出張所を買收し福建廣東方面に於て電氣事業を經營し又は之れが借款に應じ以て南支地方の電氣事業を開拓すべき計畫にて同地の華南銀行及び關係者にて一萬株を引受くべく準備中なりと（大阪）

佛國大使通過

目下北京滯在中の本邦駐劄佛國大使バプスト氏は夫人令孃並に從者一名同伴六日北京出發京城通過歸京すべしと

非律賓視察團

滯在中の非律賓朝鮮視察團一行十一名は六日午前九時南大門發安東縣へ向へり

三將校派遣

獨國潜水艦仁川寄港に際し艦艇事務打合、講演及び防疫用務を帶び海軍大尉矢持輝治、同山下深志、海軍々醫少佐堀安左衛門三氏六日京城に派遣さる

木浦商議役員認可

木浦商業會議所役員改選の結果左記諸氏當選に就き右認可申請中の處十月四日附認可ありたり
▲會頭 木村健夫 副會頭 村上直助 ▲常務委員 奈良次郎 桂山淺之丞 李昇圭

忘機吟社例會

忘機吟社月次例會は十二日午後一時より往十里停車場附近高木青水氏別宅に於て開催し同日は會員各自辨當の持參及び新印を携帶すべしと

洪城商會設立許可

株式會社洪城商會設立の件は十月二日附許可の指令ありたり同社は本店を忠南洪城郡に置き資本金二萬圓を以て肥料農產物の賣買其の他を營むものなりと

小原烏兎 東京大森木原山より

忘中閑あり閑中却て忙あることを謂ふ居候、十年振に故國に還り住みて、なつかしきものは曰く竹籔也、曰く昔の錢也、曰く杜也、曰く露也、いやなものは曰く紅塵也、曰く泥濘也、曰く自動車也、曰く市中の雜音也
懷しむ故鄉の竹垣の露に行く
逍遙す昔の驛や百舌鳥の秋
湯に浸り山の秋に倚る
本日池上本門寺畔に逍遙、依例駄作御一笑に供し候。芝居を三四觀き申候、名優を得るは恐らくは今後十年を待たざるべからざることを恨也と存候（十月二日）

人事消息

▲群山智氏（總督府會計課長）鄕里歸省中の處五日歸京六日より出勤したり
▲手島喜一郎氏（農商務省海外實業練習生）五日入城六日總督府に關係當局を訪問したり
▲倉田七郎少佐（海軍水雷學校教官）母堂葬儀の爲五日夜入城本町肯々園へ
▲本木辯護士 五日慶南へ
▲佐々木齊禰氏（辯護士）五日夜入城不知火へ

其の日その日

◇日本軍艦が、黑龍江遡行の支那軍艦の行動を阻止し、一と問題惹起せんとするが如き北京電報が、過日の各新聞紙上に現はれたるは、强記なる讀者諸君の未だ忘れざる處なるべし。吾人亦本電報に對して、頗る奇怪なる感を懷けり、若しなれば元來支那軍艦の黑龍江問題は露支兩國間の問題にして、日本の干與すべき性質のものに非ず日本は全然局外者たるの地位に在る者也。然るに突如斯る報道の傳はるは必ずや其裡面に、何等かの伏在すべきを思ひ、徐ろに其結果に注意しつゝありしに果して吾人の疑惑の如く、其報道の出所は北京漢字新聞にして其裡面の事實は、現下日支兩國最も親善なる關係にありて、支那は其海軍將校の養成を、日本に依賴する等の事實あるを嫉みて、兩國の離間せんとする、某國人の使嗾に出でたる事判明せり。何時もながら其陋劣の徹底の極にして、馬鹿々々しき限りにこそ。
◇高橋佐藤兩相が、物價暴騰を外に見て、太平樂を並べ居たる足下より、判任官連名辭表の突發せしは笑止千萬也。而も其れが大藏省なるに於ては皮肉にもあれば滑稽也。之にて物價暴騰の眞味が分つらん。物價問題は既に經濟論を超越して、大なる政治問題に移れるにお氣付あるや否や。
◇勞働代表桝本君と決定して紛擾一屑火の手を揚ぐ、其睨み合の處物凄し。吾人は斯んな喧嘩よりも、今回の會議に必ず飛出すべき、人種無差別案に對して、委員諸君は如何なる議論を有するかを聽きたし。各委員が未だ此點に於て、一人も其抱負を吐露せざるを不思議となすもの也。又しても巴里公會の二の舞を演ずる丈ならばまだしも、飛んだお茶番を演じて、其結果が勞働界に於ては、日本は未だ二等國なりとの評を得、米國の眞唯中にて蛇蝎の喜劇を演ぜざらん事を希望す。

▲西師小熊氏（造船大監）五日朝入城朝鮮館へ
▲藤川利三郎氏（新任慶北道知事）五日午前十時南大門發赴任
▲アントニオ、デー、トーレース氏（比律賓土人隊陸軍少佐）五日午前九時半宇都宮軍司令官淨法寺師團長を歷訪したる後古城軍副官の案內にて步兵第七十八聯隊に臨み兵舍炊事場其他を視察したり
▲佐藤恒丸博士（軍司令部軍醫部長軍醫監）忠州馬山地方衞生視察中の處八日歸城の筈
▲池田將太郎氏（陸軍勅任技師）六日夜家族同伴東京に赴任
▲佐藤師團參謀（騎兵中佐）平壤に出張中の處五日歸城
▲早川二等軍醫正（師團軍醫部長）陽川成川地方防疫狀況視察中の處八日歸城の筈
▲安藤又三郎氏（滿鐵京管局運輸課長）上京中の處五日歸社
▲深村三等軍醫正（師團獸醫部長）洗浦地方に出張中の處五日歸城
▲營地師團副官 同上

◎廣告▼（一）支部は都合に依て左記の地へ移轉し國野谷平義就任致しました▼（二）社員を募集す望みの者は履歴書持參御出を乞ふ▼（三）差支の方は御一報下さい▼（四）公債證書又は勸業債券を月賦で販賣致しますから御申込の方は多少に拘はらず仰付下さい確實に御取扱申します
大藏大臣認可 日本興業公債株式會社朝鮮支部（假事務所）京城府吉野町二丁目四十四番地

拜啓御地在任中は多大の御厚情に預り奉深謝候殊に御多忙中態々御見送を辱うし重々難有奉存候乍略儀不取敢紙上を以て御禮申上候
大正八年十月五日 鈴木四郎 ハナ

友谷榮三 十九
右ハ素行修ラズ金錢ノ浪費甚敷改悛ノ見込無之當春以來放逐致居候次第ニ付萬一如何樣ナル手段ニ出テ候トモ當店ニテ金錢上ノ責任ヲ負ヒ不申候ニ付右爲念廣告候也
京城本町二丁目電話一〇二番 金物商 友谷塚一

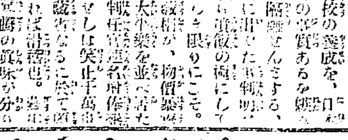
筆生採用 貳拾名（但し男女共）
通勤及自宅筆耕 應來社面談ありたし
京城長谷川町五八（電一〇一九） 朝鮮製藥合資會社

メリヤス類 製造販賣 御直取引 無代
名古屋市千種町 樋口メリヤス製造所

各種自働車 附屬品入荷
特ニフホオド用 多數着
入荷案內每月發行御申越次第送呈ス
各種自働車用ボデー 在庫品アリ 詳細御照會アリタシ
大阪市大江橋北詰東へ入ル 株式會社 太平商會 電話北一五九四番 振替口座大阪四六三八五番

父上林卯之吉儀豫テ東洋生命保險株式會社ト金五千圓ノ養老保險契約罷在候處今般病死致シ候ニ就テハ前記ノ金額ハ京城代理店ヲ經テ正ニ受領致シ候間同社ノ確實ニシテ迅速ナルコトヲ謝シ併テ謹告候也
大正八年十月一日 安東縣五番通三丁目 受領者 上林辰一郎

急告
最上印醬油
壹斗樽 貳千樽限り
右特價購買券にて御購入の方々に限り値上不致候間賣り切れぬ内に早く御注文被下度候
永登浦 大塚醬油釀造所 電話貳〇番 振替京城六二〇番

安心の出來る 華化

ボックス皮製編上 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢 五號九圓五十錢
ボックス皮製 變型靴右同一
ボックス皮製深ゴム 一號六圓五十錢 二號七圓五十錢 三號八圓五十錢 四號九圓五十錢 五號十圓五十錢
▲御注文の節は靴の種類代金及送料御送付次第即御送申候 ▲皮見本御入用の方は郵券二錢を要す ▲御希望の型は御照會あれ
東京府御用 日野製靴店 東京京橋幸町 電話京橋三六三九 振替東京九九五一

古自動車數臺 買入し度し
右種類ヲ問ハズ使用ニ堪ヘザル安價ノモノヲ大至急買入レ度シ
京城府南山町 天眞樓內 鈴木

講道館支部柔道大會

鍾城から惡山鎭へ

國境橫斷旅行（六）

對岸の不逞鮮人部落 マッチで雷管の製造 石油の空罐で豺退治

八月十五日に初霜の降つた土地 城川江を渡つて茂山邑に入る

茂山にて 特派員 伊藤韓堂

九日の朝、床を離れると所長の木島サンが『今日は既う十度に下りましたぜ』といふ寒暖計を覗いて見ると攝氏十度だ。華氏で恰度五十度に當るから大分冷やかなはずだ。此の分だと

朝鮮一の寒い處

延岩方面は隨分寒うなつてるだらう、八月の十五日が初霜で十六日も引續いて降つたさうだ。午前九時、昨日踰ねて來た鶴嶺越を幾度か振顧ながら豆滿江岸に沿うて上に上つて行くと高嶺嶺の頂上に出た。祠があつて國師大天王神位と書いた神體が祀つてある。山を踰ねて仕舞ふと西江村で此の間が一里十四町である。高嶺嶺に續いた嶺々は昔の城壁らしく處々に小石を積んだ處があり。多分女眞の遺跡だらうとのことだ。又村の排水工事の時に古い

人骨を掘出し

たこともあるといふ。併しながら茂山郡は一體に近世南から引越して來た、謂はゞ植民地なので舊家と雖も二百年以上に達した家は尋常らないから古い事蹟は戶々に傳はつて居らぬ。此の對岸も可成り不穩な地方であるが中にも一里許り上手に當る三道溝の青波湖には鮮人が二百戶—七八百名程居住して居る。此の村は以前は左程でもなかつたが近來は非常に惡化して手が著けられぬ樣になつた。

全村檀君教徒

であるのも珍らしいことだ。去る五月末例の太拉子の明東學校が閉鎖を命ぜられた時生徒等は全部此の村や南坪洞に避難し來つて、當憲兵襲擊の準備をしたこともあつた。彼等や馬賊はいゝ火藥が手に入らない所から眞黑なものを使用して居る、之れは局子街あたりの支那人が製造するのであつて、銃砲火藥の密買は極く自由に行はれて居る。雷管はブリキの片にマッチの燐を箝めたものを使用し、彈は鉛や活字を買うて來て瓦や石に鑄込んで製作して居る隨分粗製品だが夫れでも

人を殺し獸を

殺すには充分だ。内地でも今春騷擾以來鮮人の銃器所持を禁じたので獵師は勿論や百姓に轉業したが虎や豹や豺は山を下りて人家を襲ふので牛馬や豚の被害が頻々とある。西江村の駐在所には獵師よりも農民が聯合して銃器の下附方を請願して來る者が多く是等には石油の空罐を無償で交付して居る虎は知らず豺位は逃げるであらう。午後一時、此の西江村を出發して

研大嶺の頂を

踰ねて梁永鎭に着いたのは午後五時であつた。研大嶺は一名作大嶺と云うて海拔八百八十米突あるさうで此の附近では高い方の山である。駐在所に少憩、茂山街道の坦々たる道路を傳うて九時過ぎ茂山邑に入つた。

朝鮮行き外人多し

每航平均卅名を下らず

講和以來激減たりし獨墺諸國の日本駐劄公使館並に領事館等著々として開始せられ一般外人又商取引開始の爲め續々として渡來しつゝありこれと同時に鮮滿行外人俄に激增し下關經由關釜連絡船にて渡鮮の途に上る者每日平均三十名を下らざるが中には戰前朝鮮に於て相當店員を有し開戰と共に召集され戰線に於て奮戰したる勇士もあれば視察を兼ね親族知人訪問の者もあり單獨の者數名の家族を引連れたる者等樣々にて尙ほ益々渡鮮するもの、如し（關門支局）

心細い虎疫豫防注射

漸く一萬六千人

本町署の衞生係は豫防注射の成績に就て語る『本署で虎疫豫防注射を勵行して以來一回が一萬二千八百三名二回が四千三十九名合計一萬六千八百三十三名といふ數を示して居るが是を本署の管內住民（九萬千四百名位）に比したならば未だ五分の一にも達してゐないのは實に心細い、今後若し市內に一名の虎疫患者でも發生した場合は注射證明書無き者は絶對に乘車せしめない事になるだらう又一般住民も社會公衆に對する一つの義務として豫防注射を受られたがよい』

釜山鐵道ホテル工事竣成す

五日より營業開始

豫て改築中なりし釜山鐵道ホテルは工事竣成し五日より營業を開始したり（釜山特電）

下の關檢疫と旅客

順調に乘降す

關釜連絡船の採便檢査は其後一般乘客に徹底したると其筋に於ても乘客の迷惑を諒とし檢査員を增員し檢便の急速を計りたる結果下關着後の停泊時間を約半減し即ち一晝夜停船は十時間內に至十二時間となりたるが之が爲め釜山夜發下關着連絡船乘客は翌夕刻下關に上陸七時十分發の東京行急行に乘車するを得又釜山朝發下關夕着連絡船乘客は翌朝上陸を許され同朝發東京行急行列車に乘車する事となり旅客は順調に乘降し居れり（關門支局）

北滿のペスト終熄す

北滿哈爾賓附近に於て猖獗を極めたるペストは其後何れも漸次終熄に近づきつゝあり（哈爾賓特電）

爆彈事件眞犯人

府內樓下洞にて逮捕さる

京畿道第三部發表

南大門驛頭に爆裂彈の兇變があつてから最早一月餘りを經過した。それは先月二日の午後五時半恰も齋藤新總督一行を乘せた馬車や自動車が驛頭を放れやうとする一刹那の出來事であつた。總督の命を覘ふ一不逞鮮人の手に依つて投ぜられた爆彈は轟然天地を震撼する爆音と共に三十餘名の重輕傷者を出した慘狀は今尙吾人の眼底から消えない。然も其の不逞兇猛なる眞犯人は巧に現場より逸走して所在を晦まし官憲の大搜査亦何等の得るところなくして十數日を經過し、當局無能、事件は迷宮に入ると呼ばれて世論囂々たるものあり、其筋は遂に該事件一切の新聞掲載を禁止するに至り、人心不安の中に三旬餘の日子は過ぎた。而して暗雲低迷の裡に葬り去られんとして居た爆彈事件は本日午後二時突如として其筋より發表の命あり、茲に祕密の扉は開かれて眞犯人の檢擧、逮捕の顛末等を報ずるの自由を得ることゝなつた。

爆彈事件犯人 姜宇奎

犯人は平南德川生れの姜宇奎と云ふ老人

耶蘇長老派の傳道師 浦鹽方面より入込んだ

九月二日南大門に於ける爆彈事件に就ては嫌疑者を逮捕し其自供及び四周の事情を綜合するに大要左記の事實と認めらる犯人は姜宇奎（六五）と云ひ平安南道德川郡に生れ幼年時代書堂に漢文を學びたる外學歷なく中年後耶蘇長老教に入り信仰を繼續す今より三十餘年前咸鏡南道洪原郡に移居し同地に在籍す其後十年前間島頭道溝に移住し四年前更に支那吉林省饒河に移り私立學校を設立し子弟の敎養を爲し傍ら耶蘇の傳道を爲し浦鹽與露領方面の各地を遍歷し專ら排日思想の鼓吹に力め常に過激の鮮人等と往來交際し且つ久しく僻地する地に於て一露人より爆彈一個を購

爆彈は露人から

浦鹽から元山に上陸 商人に扮して機を窺ふ

犯人は住所地なる饒河と距離遠からざる露領靑龍と稱する地に於て一露人より爆彈一個を購ひ之を携へ浦鹽より汽船に乘り淸津城津の兩港を經て元山に上陸し同地より汽車にて入京し商人に扮し轉々旅舍等に投宿し新總督着任の日を待ち居りたるもの、如し

賣名の手段として

兇行を思ひ立つ 鍾路の咽喉突き鮮人

本年三月孫秉熙等獨立を宣言し騷擾するや諸いて四方各地何れも之に倣ひたるが犯人の居住地方吉林饒河附近に於ける鮮人も其擧に洩れず何れも獨立萬歲を叫び既に朝鮮は獨立したるものと確信したるも暫時にして其夢事たりしを覺知し痛恨止まざりしが當時浦鹽方面にては頑老派の組織せる老人團に於ては李東輝の父たる李發以下七名同團の代表として入鮮したるも何等爲す處なく僅に鍾路に於て自ら咽喉を突き狂態を演じたるも官憲に捕へられて後反つて獨立運動の無謀なるを覺り歸來するや犯人は之れ官憲に軟化せられたるものとし大に憤慨し自己能く老腕を振ひ餘命永からざる身命を賭し以て名を天下に揚げんと狂亂的賣名の意を廢し其機を窺ふ折柄長谷川總督の更任說傳はるや新任總督着任の盛時に於て事を揚げなば假令事は失敗に終るも名を揚ぐるは此機より外なしと決意したるものなるが如し

兇行後の犯人

髭を剃り落し偽名して 巧みに市內に潛伏

犯人は九月二日午後五時新總督着京せらるゝや之に先立ち歡迎者觀覽者等人馬の往來混雜に乘じ巧に觀覽者に紛れ豫て用意の爆彈を携へ貴賓室出口と距離遠からざる箇所に人力車供列觀覽者整列し居れる箇所に近づき總督の到着を待つ折柄新聞紙掲載の肖像に依り知り居れる總督は貴賓室を出て馬車に乘せらるゝを見澄し時來れりと携ふる爆彈を總督目掛けて投下したるに馬車の近所に落下し爆發せるも總督の無事なるを見て失望し現場を逃走し暫らく市內に潛伏するの計を爲し蓄へ居りたる鬚髯を剃り落し變裝の上名を康寧一と僞り宿所を轉々し巧妙に潛伏逃避し居りしも天網免れ難く九月十七日遂に樓下洞に於て警察の手に捕縛せらるゝに至れり目下取調中の處今回檢事局に送致するの運びに至れるもの也

亡き師

亡き友偲びて

京城公立高等女學校では秋季追悼會を去る六日午前十時より若草町眞宗大谷派本願寺に於て故成田校長及び職員卒業生、生徒中の長逝せし者の爲に追悼會を催した一同席定まるや僧侶の讀經に法會は始まり般若心經の讀經の後高木校長生徒總代高橋蒻枝、卒業生總代高宮みつゑの諸氏追悼文を朗讀し可憐なる披露が濟むと遺族總代の故成田校長嚴父の挨拶、松原舍監師の法話がある、數百の生徒卒業生、遺族達は今更に故人の俤が偲ばれてか一樣に啜泣を咽んでゐた、法要を終つたのは丁度正午、百五十餘名の卒業生は夫より母校內の同窓會秋季總會に出席し午後四時頃散會した

潛水艦觀覽券

當籤者へは既に郵送す 仁川行汽車賃は自辨

戰利潛水艦觀覽券は社告の通り四日本社樓上に於て公平なる抽籤を施行し當籤者へは一々端書を以て其旨通知する筈であつたが其引替の手數を慮かり本社から各別に直接觀覽券を郵送したから觀覽券の送附を受けぬ者は當籤外れと承知ありたい、當籤者は

券面記入

の日附に從つて當日は南大門驛前本社臨時出張所又は仁川築港內本社休憩所に集合して貰ひたい觀覽券は再び要せぬから紛失せぬやう尙本券を所持せぬ者は艦內に入ることは不可能故お忘れなく携帶するやう願たい次に仁川行乘車券を無料で本社が交附するやうに

誤解して

本社に請求せらるゝ方があるが乘車賃は各觀覽者の自辨であるから各自購入の用意がありたい尙當日は多數の人員が集合する事故成る可く混雜せぬやう各自に注意し、努めて輕裝するやう

婦人子供

は成る可く遠慮して欲しいとの主催者側からの希望であるから其意を諒して能ふ限り規律正しく見學して貰ひたい。

列車目蒐て

五日午前七時仁川發第二百三列車が驛舍近く進行し來りし時三十歲位の內地人物陰より突然現はれ該列車目蒐けて飛込み機關車に觸れて即死したり身分原因等目下取調中

傳染病

府內唐珠洞二十三番地堀田貞一方同稔（生後二ヶ月）は四日天然痘に罹り順化院に收容▲花園町四十二番地秋田菊次（六五）同南大門通五丁目八番地同村友三郎（五五）同若草町百七番地山口秀夫（二一）は四日何れも赤痢にて順化院へ收容さる

釀造品評會

褒賞授與式 受賞者十八名

一日以來仁川に於て開會中なりし京畿道第二回釀造品評會は五日を以て審查確定し六日午前十時三十分より會議所樓上に於て褒賞授與式を擧行せり會長村地知事の挨拶に次いで審查長清水技師の審查報告來賓の祝辭吉金組合長の答辭等ありて優等入選者以下に對し夫々褒賞を授與し正午終了せり入選者は左の如し（仁川）

清酒

優等	醉公	京城	中井忠三
同	振天	仁川	吉金喜三郎
一等	大鵬	同	高野周三郎
同	翁	京城	田中敬吉
同	誠鶴	仁川	深見寅市
二等	若鶴正宗	京城	大畠常次郎
同	三巴正宗	京城	三巴酒造
同	花卿	仁川	吉岡福太郎
同	鶴の井	同	難波與太郎
三等	羽衣	同	重兼定太郎
同	波鏡	仁川	鏡味常助
同	天賞	京城	石原磯次郎

醬油

優等	山吉	京城	三好喜六
同	龜甲龍	仁川	日本醬油株式會社
一等	分銅高	同	高井昇
同	龜甲豐	同	豐田梅吉
二等	龜中晧	京城	戸島祐次郎
三等	龜甲鶴	仁川	關西商會

防疫醫助手募集

本府にては此際防疫の爲め內地人醫師の助手を要する由にて目下所要人員募集中なるが志望者は警務局衛生課に直接同課に問合せば直ちに回答あるべしと

▲看護手も未だ增員の必要ある由にて左記該當者には日額三圓以上四圓迄の手當を給し派遣地迄の往復旅費も支出すべく志望者は本人履歷書携帶直接警務局衛生課に出頭すべしと ▲陸海軍看護卒又は看護人たりし者▲官公私立病院又は細菌試驗室に於て看護若くは助手として經驗を有する者▲官公私立病院に於て附添人たりし者

新しい淨瑠璃

五日夜本町の淨瑠璃會は京城に於ける新進天狗の顏揃ひであつた、盛山君の勸進帳を中途から聽く、免許皆傳の初君の本藏、同じ節廻しも未熟、但し語り物だけに手に入つたものだが腹し節は惡い方で無い、登鶴君の皿屋敷、口に合つたものだけに無難であつた、この人新進連の中で望みを囑されてゐる一人だが何うも世話口で無い、香卿から時代向きである、お菊の聲が老婆の樣になつたが磯山は上出來、才に龍山の大天狗叶君の野崎、何うした機か枕から聲が巖に乘らない、ハテとんな筈が無いと思つてゐたらジッと耳を澄したが大分聲が嗄れてゐた、朝顏の口に合つた語り物で無い、力が離たつて出來の惡い時がある、雨が降り出したのでがよかつた（香雛）

燈頭

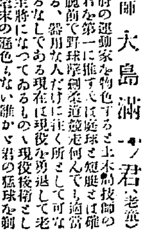
▲『君なんかに釣れる鳥は熱病にうなされてゐるか或は虎疫にでも罹つてゐる位が關の山だらう』と此の言葉に憤慨し往年射擊名譽旗を取つた腕を見よと許り日曜の早天から北漢山に出掛けた▲先づ第一に雉子一羽を射止めて凱旋した▲『どうだ凄い手腕は』忽ちにして雉子一羽其他十五羽は凄いものだらう』と揚々たる意氣込に感服した▲『して其他十五羽は何鳥か』と訊くと吉澤君急に悄然返り極めて小さな聲で『雀は雀』

○天理教講演會 來る九日釜山守谷旅館樓上に於て天理教講演會を開催する由其演題及び講師人名左の如し（釜山）
一文明の抵抗 文學士今西國三郎
一人と社會 文學士深谷德郎
一幸福を得る道 文學士山澤協信

○千葉三部長張宴 京畿道第三部長千葉了氏は五日夜三部出入の新聞記者を料亭白水に招待し燕宴を張りたり

庭球界の人々（五）

朝鮮總督府技師 大島滿一君（老童）



總督府の運動家を物色すると土木技師の大島君を第一に推さねばならぬ。短艇に庭球に競走に何れもかな腕前で野球や劍道なぞは實際で器用な人だけに往く所として可ならざるなしである現在は現役を勇退して老童の主將になつてゐるものゝ京城庭球界の世話役として刀のやうだと云つたが實際である今日も尙ほ絕えず斡旋に努めて居る昨夏坪井君と組んで早大と勇戰した時の勇姿を思ひ出す。君は明治廿二年長崎縣大村に生れ大村中學から第五高を經て大學に入り大正二年東京帝大土木科を出て直ちに朝鮮に入つたのである。五高時代で既に庭球選手であつたが大學に入つてからも止めて居なかつた快活な人で非常に懷かしみのある好紳士で將棋、撞球で強い方ではない方でまた可愛い男兒の御父樣とは見えない程若々しい（現住所は旭町一ノ四九）

演藝案内
壽館 本町一丁目 電一〇五〇
喜樂館 本町一丁目 『牧師の弟』全五巻 『新橋情話』全五巻
大正館 櫻井町 電話八七三 『銀彈』全七巻
浪花館 京城明治町 電話二六〇 京山愛子一行
浦里時次郎 明烏夢のあわ雪
滿員御禮
自動車 東京自動車學校
てんかん
釜山商店案内
卸問屋 小寶
山西合名會社 糖粉、乾物 食料品、煙草 罐詰、雜貨
スマートトン
福榮商會 洋酒・罐詰 糖粉・官煙
あづまや商店
島田糸店
角野商店 洋鐵鋼鐵道船舶 材料其他工業諸器械附屬品商
三谷商店 青竹直輸入販賣 豐後石炭一手販賣 商產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋
日本勸業債券

仁川期米
天氣 曇少雨後晴

第五版

王者の道を經て
無駄足を踏まずそれに近づきつゝ
滿洲を統一した張將軍
鮑貴卿は黑龍から吉林へ　孫烈臣を北邊黑龍江に
これからが愈々獨占の檜舞臺である

町野張督軍顧問中佐は時々思ひ切た事を云ふ人である曰く現在の支那の狀態並に督軍とか將軍とか云ふ者をズート見渡した處奉天督軍兼奉天省長で東三省巡閱使たる張作霖氏の右に出る者は一寸見當らない。張將軍確かに一頭地を拔いてる而して其抱負なるものも決して小でない、先づ現今の支那を統一するものは張作霖將軍であらう、確かに各方面から觀察した處で彼は

常に正々堂々と

王者の途を踏んで一歩々々王者の其れに近づくべく進んでる、又其の意氣其の大覺悟大目的を以て一擧手一投足も疎そかにせず進んでると、云ふ樣な事は屢々繰り返される處である、實際そんなに大きな覺悟を持つてるか否かは今保證の限りではないが、兎に角に一歩々々進んで第二十七師長から遂に段芝貴を逐ふて奉天督軍兼省長の位置を贏ち得て以來今日迄望んで得ざるなく著々と最も堅實なる地歩の上に立つて進み決して無駄足と云ふものを只だの半歩でも踏んだ事がない、そして遂に東三省巡閱使たる名實相伴なふ偉大の權力者となりたる上更に其の實權は遂に延びて軍權以外にも及ぶ事となつて東三省の事

一に張使の意圖

のまゝと云ふ樣な立場に立つ事となつた、其の得意や想ふべしである、で最近鄉戚關係のある鮑貴卿を黑龍から移して吉林に督軍たらしめ腹心孫烈臣を北滿黑龍江へ派して督軍たらしめた而も黑龍は奉天系を以て全部を堅め殆んど奉天と異なき狀態である始め是れを行ふに當りては一時吉林省民の意圖を慮かつて鮑を吉林に督軍たらしめたけれども遠からず孫をして代らしむるの意見であると云ふ評も傳はつて居た其れも全くの嘘ではなかつたらしいが鮑督軍が吉林に入つていろ〳〵と事情を知つて見又吉林の土地を見て大いに意に叶つて動こうとは云はない事となつたので愈々鮑の御輿は吉林に据はつて仕舞つたのである、乃こで先づ

東三省は爰暫く

大なる變動のない限りは此の儘で經過するだらうと思はれる、張使も先づ安心吉林省内の巡視するの意圖を藏し既に決行せんとする際に當りて例の寬城子事件の交渉が開始された、で政務多端到底其の不在を許さない事となつたものだから巡視は沙汰止みとなつたが其の間に張使一派の手は遂に北京に延びて東三省巡閱使の官制は發布され外交内治其の他一切の東三省を統一して張使の手中に委せられる事となつたから愈々以て巡視は困難となつて來た、結果遂に鮑督軍を奉天に招致して萬事の打合せをする事となつた、兩督軍晉奉の期は未定であるが兎に角に遠からざる内だと云ふ事丈けは確かである、是れで見ると

支那を統一する

か否かは問題だが東三省丈は確かに統一し殆んど君臨したと同じ狀態にまで漕ぎ付けたのは事とか保證とかの範を出でないらしい、何ら内容態度が如何にも寬大なのや保險金受領廣告見たいな事をさせたり日支親善を口から出まかせに暗誦してる者に喋らせたり爲し得るのが相互の國交を促進する譯でもあるまい、外交の秘訣でもあるまい、要は日本を相手國に正當に理解せしめ又十分に正當に支那を理解した上で時に依り場合に從ひ

緩急相應じて來

なくてはならぬものである、

奉天より（二）
老禿生

其れは夫れとしても捉ふべき時期チヤンスは決して逃がさない、殊に東三省巡閱使の位置を克ち得たりと雖もお隣には日頃から犬猿も啻ならぬ孟虎字將軍が吉林に蟠居し中央は容易に張將軍が希望して居た樣な官制は發布せぬ、で時には或は將軍は虛器を擁してるのではないかとさへ見へて居たのが時至れば疾風迅雷的に孟將軍を逐ひ高士儐を臥落し以て其の後釜には鮑督軍を据へ黑龍へは

腹心の孫將軍を

の實權は正に掌中に歸した、而も其の間一兵に血らずしてだ只殘念なのは例の寬城子事件が突發して不幸日本軍は十八名の犧牲者を出し寬城子原頭腥風吹き帝國の干城を異域の土に委して不祉の靈魂夜毎に同胞の枕に通ふの犧牲を出したが張將軍は此して何等の犧牲者を出さないで悠々と吉林を手に入れて仕舞つた、處が日本も是れを其のまゝに放つて置く譯には行かぬとして所謂寬城子事件として日支の間に交渉が開始された、其交渉の大部分は奉天に移され帝國の

總領事と張將軍

この間に接衝が始まる事となつた、其處で明を見るに敏なる將軍は早速逆襲的に、巡閱使の官制發布を迫ると共に更らに進んで奉天を以て眞に滿洲の中央たらしめ文武兩權は勿論事外交に係る事までも全部掌中に收めんと企劃し着々步武を進めた結果は爰に以前の東三省總督以上の大勢力を擁せんず迄に成功したと見へて去月二十二日から交渉が日支間に奉天に於て開かれた、けれども決して一と筋繩じは行かぬ、揩つた揉んだ、責任がないとかあるとかで

賺したりなだめ

たり同情を求めて見たりで容易に埒のあかない處は例によつて例の如く所謂支那一流の千變萬化の秘術を盡して目下接衝中である此間に何等か乘ずべきの隙を認めたならば必ず文句が出て來るのは必定、而も夫が日本に對して許りではない中央へ對してゞもあるから……此邊が何處やらの外交とは少し異なつた處で……だが大局に於て豫定通りの解決を見るであらうと思はれる、が此處で一般の注意を喚起したいのは何も其の交渉の內容や態度ではない、一ツ體に日本の外交なるものは十分に

支那を理解して

交渉條件を定めたものか否かゞ問題である、例に依つて內容なるものは賠償とか謝罪とか處罰賓である、張使は今猶ほ壯齒漸く四十五、是れからが本當の働き盛り分別盛りであるから或は支那を直に統一して仕舞ふかも判らない、殊に使の頭腦は如何なる方面でも行くとして可ならざるなしと云ふ理で其の內情事逆財政には特別の智識があると云ふ事だから益々以て前途は賭し難いのである、今や東三省を統一し吉林を初め黑龍の財政整理を行ふべく着々準備を進めてるとの事だから此の兩省が先づ今日の奉天省位にまで財政が整理されたならば其の勢は大したものとなるであらうされば軍備は益々充實されるであらう其れも決して遠き將來ではあるまいと思はれる、左樣なると張將軍の

中央に於る勢力

は今日の處で一寸比較する者がない位に大きなものとなつて來る事は疑ふ餘地はない事となる斯うなると將軍の望みは一層に大きくされて來ると同時に共和制に於ける大總統を希望するか否かは張將軍の性格から想像して多少の疑ひなきを得ないが兎も角も君臨を欲しはせぬかと思はれ兎に角に張將軍の將來は大に刮目に値する處、あると思ふ

支那車夫でさへ

際に日本が寛大であり得るならば何もそんなつまらない交渉をするには及ぶまい、日本の軍人が例へ相互に宣戰を布告こそせね、實際は銃彈が飛び鮮血が迸した戰爭で國の爲に身を捨て死に就いたのであるから他國から賠償等を求むべきではない、宜しく國家が其責に任ずべきである、其他謝罪や保證や處罰をやつた處で寬城子事件が抹殺されはしないと同時に帝國の忠良が蘇生しては來ぬ、是れでは何が寛大だか判らないではないかだから此頃支那車夫でさへ日支は親善であるか頭を揶つてもよろしいと云ふのでお客さんたる日本人の頭に手を加へる事があるではないか、其上に日本の寛大を標榜すれば一ツ體ドンナ事になるかと思ふ、爆彈事件にしてもだ、只單に張將軍が南方派に對する警戒からと許り見てると飛んでもない難題を持ちかけられないとも限るまい爆發させたのは赤化の有無は別物としても實際が朝鮮人だからね、餘張將軍の好意を難有がると誰かが馬鹿を見ねばならぬ事になるかも知れまい御用心々々

市議員選擧
官選議員其他發表

大連市會議員選擧は豫定の如く一日行はれ、左の諸氏當選確定に選任發表ありたり

吉本鐵太郎、山澤大兵衛、長谷川作次郎、立川雲平、相生由太郎、水津彌吉、郡學純、牛作周（以上再選）阪谷丈夫、大來修治、中川健藏、古澤丈作、齋藤熊太郎、木下龍、新開貢（新選）以上

右選擧議員は直ちに復選を行ひたる結果左の諸氏當選せり

佐藤至誠、有賀定吉、小島鉦太郎、大庭仙太郎、中村敏雄、原田充次郎、福田顯四郎、川上賢三、朝政與三郎、植賀連（再選）安川私三郎、岡田時太郎、村田誠治、横山信勢、石財治八（新選）以上

但し大來修治氏は即日辭表を提出せり大連の元老たる石本、相生の再任は當然にして奇なく其他再選議員には別に特記すべきなきが新選には特に商側より古澤氏大正會より齋藤氏、言論界よりは大來遼東木下滿日の兩氏を擧げ區委員側より新開氏を衛生的方面より坂谷氏を拔ける等當局苦心の跡見るに足る（大連）

木材配車順調

新義州に於ける現在の木材滯貨は原木及び製材を合せて約六百車の見込みなるが從來貨車配給意の如くならず眼前結氷期を控へ居るに際し土木建築業者及び木材業者の蒙る不利益は頗る甚大なるものありしが當業者の努力と滿鐵當事者の盡力により十月一日より同地木材組合に對し毎日二十七車を配給する事となりたる由なれば近々木材輸送難の聲を絕つに到るべきかと一般同業者は喜び居れり（安東縣）

釜山汚物掃除問題
十月から府の直營

釜山多年の懸案たりし汚物掃除問題は愈々本月よりの府の直營と爲す事となり爲めに永年該業の經營者たりし小林彥一氏との事業引繼きに關し三日午後府廳樓上に於て協議を遂げたるが其權利並に使用設備器具類等の買收に付他より評價人を選定し之が評價を爲さしむことし（釜山）

全北簡閱點呼延期

全北各郡に於ける簡閱點呼は既報の如く近く執行さるべき筈なりしが今や全北各地に亘り虎疫猖獗を極め居るを以て遂次の點呼は無期延期となりたる由

注射票を持たぬ者は寄席や活動に入れぬ

仁川では十月二日から虎疫豫防の爲めに爾今豫防注射濟みの票を持參せぬ者は活動の瓢御や寄席の竹園館歌舞伎座等に一切入場せしめぬ事となつた

頗る困る樣だが

虎疫豫防に嚴重でなければならぬから已むを得ないから聽て之が市民の却つて仕合せである、活動や芝居に行きたいまた何時行くかも分からいと思ふ人達は速かに附近の醫師に就て注射して貰ふ必要がある、そして豫防注射濟の票を貰つたら何時でも行きたい時に行ける、人は注射が頗る痛いかに考へて僞い億劫がつてる者もあるが何の事はない既に仁川では彼の

優しい藝者衆迄

が悉く洩れなく注射を濟まして何こともありませんよと云つてゐる、普通の家庭でも成るべく早く注射して安心するが好い、そして芝居でも活動でも何處でも行ける特權を得る事は又遊ぶ事に於ての必要條件であらう（仁川）

四平街通信

▲取引所開始　既電の如く一日午前九時商務會內取引所に於て設立開始式を擧行し取引開始されたるが當日は高粱四車大豆一六車豆三七車高粱二車粱四車小洋錢五萬元（邦貨大豆二萬五千元）の[illegible]

▲取引人組合成立　客月廿九日取引人の組合を組織し役員の選擧を行ひたる結果組合長三井洋行の相生武平、副組合長小寺洋行の小迫幸太郎、委員森永商店の上村三信、富成、鈴木商店松崎、和棧、同性和、天益等諸氏當選

はるべく模樣なりかりしも一兩日せば盛んに取行

▲野球熱再興　四平街驛助役江坂剛三氏外數氏發起となり野球熱再興に市練習を試みつゝありしが十月廿日前々を期し公主嶺競家氏四平街驛合野球試合を公主嶺に於て開催す可く協議を鋭く寄

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	拂込	六日中値（▲印騰貴 △印下落）
鮮銀	一〇〇.〇〇	▲二六八、〇〇
同新	七五.〇〇	一四二、〇〇
京電	五〇.〇〇	……
東拓	五〇.〇〇	……
同新	一二.五〇	……
殖銀	三〇.〇〇	▲一〇八、〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	六日第一立會	前電比較
東株	四二三、五〇	八、七〇安
同新	四一一、六〇	一一、四〇安
滿鐵	一八八、八〇	二、八〇高
同一新	一八〇、五〇	一、四〇落
同二新	一五六、一〇	四、〇〇高

大阪株式（至急電報）

銘柄	六日前場寄付	五日後引比較
大株	三九八、〇〇	一〇、九〇安
同新	三九一、〇〇	二、七〇安
郵船	二六三、九〇	三、一〇安
同新	二四七、〇〇	一、八〇安
商船	一七四、九〇	一、〇〇安
同新	一四八、八〇	一、二〇安
鐘紡	……	……
同新	……	……
東紡	二八七、〇〇	一、六〇安
東新	一七五、一〇	三、九〇安
堂米	……	……
上取	七六、四〇	……

京城現株（標準一段）

銘柄	拂込額	價（▲印騰貴 △印下落）
仁取	[illegible]	一五四、〇〇
朝郵	[illegible]	四二、〇〇
電興	[illegible]	一九、〇〇
皮革	[illegible]	二六、〇〇
東畜	[illegible]	一五、〇〇
京紡	[illegible]	三一、七〇
朝紙	[illegible]	三五、五〇
商銀	[illegible]	五八、五〇
朝銀	[illegible]	一八、〇〇
滿毛	[illegible]	▲五五、〇〇
滿糖	[illegible]	五一、〇〇
朝建	[illegible]	三一、五〇
朝鐵	[illegible]	七二、〇〇
鮮土	[illegible]	二二、〇〇
東亞	[illegible]	四四、〇〇
藥業	[illegible]	三四、五〇
仁倉	[illegible]	一五、五〇
製粉	[illegible]	一九、〇〇
朝日	[illegible]	一五、五〇
朝綿	[illegible]	二二、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
殖産銀行	一〇四、〇〇	五五〇
第一銀新	一九三、〇〇	[illegible]
東株新	一四二、〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	一〇〇、〇〇	[illegible]
大株	四〇三、〇〇	[illegible]
大阪一新	一四〇、〇〇	[illegible]
東亞新	四四〇、〇〇	三〇〇
日本紙器	八〇五、〇〇	四〇〇
南滿製糖	五一〇、〇〇	[illegible]
電氣興業	一八〇、〇〇	[illegible]
富士紙新	八五五、〇〇	[illegible]
滿蒙毛織	六三、〇〇	[illegible]
日本麥酒	五八、〇〇	[illegible]

氣迷ひに閑散

月曜明けの當地現株市況は內地電報の來著の爲め強弱氣迷ひの態にて一般に商內閑散を極め午前中殆んど手合せなく出來高平均値欄に掲げたるは休日前の取組に係るものなり

殖銀稍不勢
東電は高し

殖産銀行は前途增資の望みありとするも其時機は近からざるを以て其の間商波瀾は免れざる處より少し利の乘りたる處に一先づ利喰し時機を待つて再び買ふも遲からざるべしとの觀念より諸株不勢の折柄賣物增加したる爲め一圓安を呈し百四圓にて五百五十枚の手合せありしが此稿を書き了りし頃東京電報は突如八圓を報じ前電に比し六圓高を告げたり

商船と郵船

商船も郵船も共に戰時中に贏ち得たる程の收利は今後望み能はざるのみか米伊等も東洋航路を開始するに至らば益々競爭を激しくすべければ殊に燃料たる石炭の騰貴及び物價高に伴れ船員の手當增加等に由りて經費の膨脹は免かれざるべく戰時中に爲したる大配當は今後望み能はざるべしとの如く[illegible]來れる其の機を利用せる軟派の賣叩きも加はりて商船郵船共に最も不勢を續け他の株をも不味にしたる居るが海運界の近況は[illegible]戰時中に爲したる巨利の剩餘金は[illegible]戰前に復するとしても其の配當は[illegible]且つ郵船の如き[illegible]何程の收利あるべきか此際の[illegible]

諸株安原因觀

其の隱れたる原因の中には種々あるべしと雖も(一)昨今資金の需要激增し金利又高く騰貴し來たれるは即ち現時の投機熱が一割以上に膨脹し資力以上の投機的に走りたる[illegible]恐らく大食傷を演ずべきは[illegible]一刻も其の危險區域に迫りつゝあるを(三)彼の勞働問題の前途暗澹として測る可からざるものあることも亦た有力なる原因の一なるべし(四)即ち我が國工業の首位を占めつゝある紡績工業にとりて最も避忌せられたる八時間勞働夜業禁止の制度にして直接斯業の死活問題となるべく而して同制度の勢力益々强硬を加へ來たれる一事は各關係會社にとりて最も深甚に耐へざるものあると(五)比較的樂觀せられ居たる海運界も勞働代表協議より海員を除外されたる爲にも因らんが昨今稍々空氣の緊張し來たれると英米各國の罷業事件に鑑みて心ある者何れも警戒を加へ不安を脫し得ざる爲めならんか

東株五十圓安

買人氣の旺盛にして幾度か挫折すべき筈の處を直に挽回し來りし東株も物の潮る可からざるを思はしめ踏して根氣強く買ひ來たりし東株は現出して東株賣方萬能時代を作りたるも前月末以降伸力鈍りたる所に伴ひ大變調的氣分を漂はせ居るが三日は前日引際の反撥高を移し且つ米作前古未曾有の大豐作を發表せられたるに拘はらず寄付の東株は案外に脆く第二同立會に入るや九十圓落を告げたりと云ふに一二入賣氣を發揮して二百圓方内外の賣物を喚び三十圓崩して[illegible]引續き崩れ居たるが五日曜明にも引續き崩れ値よりて五十圓方の暴落を告げたり

電話增設
長三八七番
有價證券現物問屋
野村商店代理店
田中友吉商店
京城本町二丁目
電話長三〇五四番

大阪竹原商店特約
東京山一合資會社特約
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話一八八一・三九〇

米況

東京期米特電

●六日前場
當限寄付　四十四圓四十一錢
中限寄付　四十四圓十九錢
六日前場
寄付　三九、九〇
高値　……
安値　……
止め　……
日後場

大阪期米特電

●六日前場
當限寄付　四十三圓三十九錢
中限寄付　四十二圓二十九錢
六日前場
寄付　四〇、五〇
高値　……
安値　……
止め　……
日後場

神戸期米特電

●六日前場
寄付　四〇、〇一
高値　……
安値　……
止め　……
日後場

下關期米特電

●六日前場

	當限	中限	先限
寄付	四一、〇〇	四一、四〇	四一、七〇
高値	四一、〇〇	四一、一〇	四一、一〇
安値	四〇、〇〇	四〇、二〇	四〇、五〇
止め	……	……	……

仁川期米
六日前場（氣配呆け）

今朝天候西南の風に雨模樣も拭ふが如く晴れ渡り愈々秋日和の良好を持續するは一入買氣を阻止せんとするも一部後場阪地の高移りに人氣は強硬を示し立合へは當限より中限四十一圓五十錢を武筋の防戰買②六錢より現れしかば五十四錢と弛み先も力武が高手に遁はしも④の買ひも九十錢と叩かれ反撥せしが遂に引際七十錢と戾し混戰裡に引け④克窒も因全く買向ひ先四十八錢に至る安値は割安思ひの買物に四十五錢と戾し先七十錢と付け一錢と叩かれ十七錢と疑返した八十一錢と寄付き安値は買物多く八十二錢との賣ひに五十七錢と付け▲第二節當限ては②の買物に四十七錢と戾し先七十錢の手に五千、張よりと武筋賣物現れたる場面の人氣を逐はれ三圓全の賣物に⑧も透かさず買進み締り八十九錢を弛めず八十一錢と付け▲第三節當限出來不中中四十七錢と因⑬④の手摑み先高五十五錢と釣上げしが先限又之れに八十錢と剌戟せられ一圓の關門を無雜作に突破し一氣に爆發しる如き持ちの賣物に仲惱み一圓丁度に押目を待たず前手口に十錢と締まり八錢と手堅く引▲第四節　當限四十二圓七十錢高寄し中限は山尹⑩丸張等らし八十錢處を無雜作に一躍して二十錢の關門を破り二十錢突進したるより先も四十錢と躍進し軟派の防戰は返地高十八錢と追込まれ猛烈的に進み引際六十錢と前値に爆發して引　▲第五節　中先利喰ひに十錢ご

ご若因買に禁れ九十八錢先限は目先手諦め買りに四十錢より二十錢と追戾され前手口の維ぐに四十錢と縮まり二錢と波瀾裡に打止めたり

し難かるべしとするも此上安値を追撃するは一考の要あるべきかと云ふ

不割賣咎め

一昨後場阪地高に促がされ當所立直りしも力武筋の中先を通じたる賣壓迫に伸惱み不自然の相場を演じ休日明けの今朝は阪地減切高を移したるも各店の二萬五千石の賣物を這はし人氣に沮れしも④を筆頭に⑪④全より御行して先八十一より七十錢叩かれ安思ひの買物現はれ八十錢踊み落付かんとせる折柄又々阪地高噂さに便派猛烈に活躍して東西の注目を惹き中限買煽ふりの効果として當四十二圓七十錢中二圓二十錢と七十錢方の反撥を演じ軟派の提灯連をして狼狽踏み退きを餘儀なからしめ三節一圓迄に擦ぎ四節遂に一圓六十錢と云ふ五十丁方の急騰を演じたれば如何な力武筋も顏色を失ひ高値は防戰に努めしも各店よりの安値無れ退きに乘じて賣方の利喰ひ行はれ二十錢崩みを採り合ひ大勢に逆行したるが中先に多額の解拔けを爲せし力武筋の玉一掃迄は限先一段の高値は免れ難かるべし

	六日前場	
寄付	四〇、八〇	
止め	四〇、二〇	
高値	四一、六〇	
安値	四〇、七〇	

公定相場
一節　四〇、八一
二節　四〇、八〇
三節　四一、九〇
四節　四二、二〇
五節　四一、三〇

本日出來高　廿九萬九千八百石
帳入値段　當限　四十一圓五十五錢
　　　　　中限　四十二圓十四錢
　　　　　先限　四十一圓〇一錢

下關米取引所仲買
桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度確實町ヲ
御取扱可申候御送金ハ下關三十四
銀行下關支店又ハ安田銀行
へ御送付被成下度候
一圓手合ぜ〆

市場雜觀

新首發會以來一般市場の注目されし中限は買方團の老將たる力武の籠拔けに嫌氣相場を演じたれば軟軍の將たる南浦防は之を好機に利喰ひ乘替へと云ふコーマウンの商勢を示し▲自然先限も頭重く阪地と中間納先百丁と云ふ不自然の相場には買方團組込まれた釜山京城の某筋も聊か氣毒の到りであるが併し力武の不自然の相場を軟化せし中其他の弱氣連が絶迄硬派を壓迫し得るか否かは疑問にして▲高値を追の新米期を見掛けて味に孑はんとする現況は決して內地は六千九十萬石餘と云ふ新記錄の增收を發表されても崩れぬのみか▲逆に百丁以上の暴騰を示して居る夫れに反して朝鮮は米作で二割以上減收其他雜穀は二割以上の大凶作を唱へる現況に際し獨り鮮米安を望み人爲的に市場壓迫を加へるは大に危險視さるゝ傾向もある▲併し十二月限ニ云へば新米出盛期の事とて賣方を援護する程の有力なる賣方後援者の現れぬ丈伸力も鈍ぶり且つ自然阪地との鞘は縮少されつゝあるが果して何處まで斯の如き不自然の商勢を持續するかる如きも▲中限に買方團の殘る內鮮何れよりも鞘を擴大せしむるか今後成行は大に興味を有すされ米七萬石餘ありて之れに對す軟派の渡米調達如何に起因する處なるが限月に際し賣米戰に化するか空賣の實現を演ずるかは疑問ならぬ鹿餘地あるか否かに相場は何れにしても本年の米價は供給が時勢に伴ふ現今の米價四十圓も大丈夫と思考さる▲兎に角本月の相場は何れにしても算は尙賣餘地あるか否かに相和するので▲本年の米價は供給つて居る如くも有れば或は此何事と云ふより價格問題の域に至の理を走りモタ〳〵節の値惚買りが理屈に勝つて相場に敗けるる事の多い年かも分らんと云ふ向もありますよ

京城正米

內地米作發表の豐收發表も今日迄既に之を見越したりとて人氣の上には一層利目なきのみならず諸物價の爲騰通貨の膨脹其他種々の强材料を數へて前週より遂に人氣の沸騰を來して今朝は大阪先四十圓五十錢と一段の高値を入れたるより頃來軟派に壓迫せられし仁川も遂に不謝買の泉りとして俄然爆發を演じ續いて釜山正米も四十圓五十錢と七八十錢の高電に接し當市場も之に連れて人氣高唱へとなれるも朝來の驟雨に內にて見當たらず果して那邊を値頃とするか疑問なるが昭日來買人賣遊ふりて高張り居りたる模樣先きで三四十丁高の邊は免かれざるべし

白米更に値上け

白米は原料の益々高模樣を受け今朝は市中卸値五十一圓五六十錢に騰し其結果小賣値も今六日より更に一錢方を引上げ一等米を五十三錢二等米を五十二錢五厘となせり

在米更に減少

九月三十日現在の當地在米高は玄米二萬五千三百二十六叺白米千二百四十三叺糯九百十二叺にて同月中旬に比し玄米六千五百十八叺白米五百四十八叺糯七百九十叺の減退を示せり同分新古端境期の時期に當り一般荷主は實力の充實と先高樽へに兎角持米賣惜みの傾向あるが爲め其後の初移出頗る閑散になるに白米は內地米出其他の積出しを合はし相當の發送を見たる事とて前記調査以外の各自手持米も之に準じて減退を示しつゝあり

雜穀商內不活潑

穀物組合延期商買は昨日曜に續いて今朝は驟雨の爲め商內皆無なりしが滿州粟は前月末の在荷四萬六千四百袋に上り同月中旬調査に比し一萬三千餘袋の增加を示し尚續いて新規輸入刄々絕へざるに倉庫の不足金融關係にて依然發急ぎ物あるに引替へ目下南鮮方面に時折仕向けらるゝ位にて一般の荷動き不活潑なれば自然割安狙ひの外進み口なく先物は思惑商の際望人絕へずと雖現物窮窮に脅されて之又今一段引立たず新物として海城七圓七十錢あり當時の甘汁七二司渡し十八圓五十錢當口十く古現物は海い十七圓四十三圓米高の新內丈けに相場は脆かり周なり居たるに龍山三等二十圓五十錢の氣丈の商勢なり

仁川米穀取引所仲買人
仁川府宮町
齋藤榮之助
電話（三六七・三六）
電略（サ）又（ヤマサ）

京城倉庫穀物

九月三十日京城倉庫穀物現在高左の通りにて同月中旬に比し粟一萬三千四百袋、大豆四千叺約一萬三千八百餘叺の増加を示し小麥八百叺小豆一千七百五十叺、大麥二千二百餘叺、雜穀六十叺減少せり

▲玄米二萬三二六叺▲白米一、二四三叺▲大豆一、二六、五三七叺▲小豆一、八九四叺▲大麥一、九八七叺▲小麥七、四三六叺、四〇八九袋▲粟四六、九九六叺▲胡麻二、七六七叺▲荏子七六叺▲雜穀七三九六叺▲碎米一、〇三九叺

仁川正米市場

内地期米高と當地期米の爆騰に正米市場も又人氣沸騰して手持筋は頑强の態度を取りて容易に賣急がす氣配三十錢高の唱へなるが何分新米期を目先に控へ居れる事とて高値は警戒見送りとなり今朝は商内皆無なりし

釜山正米市場

今朝は市場人氣活況を呈し相場六十錢高を唱へ三等二十二圓八十錢にて一萬三千個の手合せ行はれたり

▲大豆は古五十錢高を示し京釜物二十一圓京釜物二十圓四十錢にて四百個新二十錢高の二十一圓五十錢にて八百個出來せり（六日釜山特電）

鯛ちりよせ鍋

毎朝八時より朝鮮人蔘湯の設備致居候尚新らたに熟練なる料理人を招き仲居も手揃申候に付御來遊願上候

京城本町五丁目（電二貳二七）
海川魚御料理仕出し會席
權平

目ニ見エテ ズンく〵トキク シマズ イタマヌ
井上博士ノ ロート目藥

リコレノ通リ

比較は

品質の優劣良否を判斷する一番の早道であります、故にロート目藥と他の目藥とを比べ玉へ

病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に惡し故にロート目藥には（下圖の如き）消毒した布が添へてあります

（全國各藥店に取次す）　小瓶廿錢　中瓶　參拾錢　徳用大瓶壹圓

ロート目藥
ロート胃活
本舗　東京市日本橋區本銀町三　山田安民藥房
發賣元　大阪市東區南久寶寺町二　山田安民藥房

賣弘所（京城本町　電話五三三七　ウツボヤ藥房）

謹告

拜啓初秋の候愈々御清祥奉慶賀候陳者弊店儀開業日淺きにも不拘取引日に增し旺盛に相向ひ候段御愛顧の賜と難有奉深謝候就ては今般大阪竹原商店より鮮滿總特約店の委託を相受け事實上本店支店關係の如く内部共通計算と相成申候間乍此上薄利多賣を旨として誠實取扱ひ可申候間不相變御眷顧奉願上候

有償證券現物賣買業
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話長一八八一番
自宅専用長二五九〇番

前記の通り今般鮮滿御在留株式放資家各位の御便宜を相計り京城新田耕市商店へ鮮滿總特約店を委託仕候間何卒當店同樣御引立御用命希上候

有價證券賣買一般信託業
株式會社竹原商店
大阪東區今橋二丁目

……中村猪五郎、佐々木甫、外人六名、石川鐵三郎、加賀辰藏、辻つた子、太郎、山中菊次郎、森田綱助……一等（十八名）清水銀藏……大島富太、田畑太郎、伊藤吉千代、岩田博雄

伊達騷動

小金井芦洲講演

第二十二席

綱宗公の太刀風

甲斐直則は此君を斯く放蕩に仕上げて亡きものにしやうこいふ巧でありますから、當時市中を横行濶歩した町奴、俠客こ稱する者で唐犬權兵衞こ云ふ者に手を廻して金子を與へ御遊興の道すがらを妨げ、吉原の歸りを待受けて、或る朝中橋で柄のない所に柄をすげて喧嘩を賣掛けました。如何に放蕩でお出でなすつても流石は御大身、町奴風情を相手になさる氣支ひはない、無理槍に挑み掛つて來るのを體を交してお投げなされ、未だ朝早いので町家は一軒も起て居る所がない、唯一軒向ふに豆腐屋が丁度見世を明けて夫婦で豆を挽いて三年目に衝突つたやうなもの

の亭主が餘り好い匂ひなので不思議を打つて豆腐屋へ來て見るこ下駄から此の匂ひが致します、引出して見るここれが伽羅の名香であつた、半分焦げた奴を藥種屋が其頃ほひのこごで五十兩で買取つた、豆腐屋の夫婦が『朝起きは三文の德がある』こ云ふには盜澤な方があるものだ、何が成る程天に違ひない、世の中の殿様か知らないが世間に流布して見れるなご仰しやつた、朝ッ原から見世先で血を見るやうな喧嘩があつて延喜でもぬふここに間違ひはねね、拾つたこ思つたが矢ッ張り昔の人の云下駄が五十兩になるこは福德のす』

居る、豆腐屋こ云ふ商賣は至つて朝起きの者で、綱宗公はこれへ逃げ込んでお出でなすつた、跡から大兵衞も追込んで來る、召して居るお履物がボーンこ脫げて向ふの土竈の中へ片ッ方飛び込む、殿は差してお出でなすつたお佩刀の柄へ手をお掛けなすつて『匹夫、慮外を致すなッ』こ仰しやつて追込んで來た者を一刀の許にお切捨てになつた、其内に大勢の御家來が馳せ付けて來て他の者を追拂ふ、先づ事なく濟んだ、時に豆腐屋へは恐れに御手當になつて『内聞に致して世間に流布致さぬ樣に』こ言渡されてお引上げになつた、此の綱宗公の履いて居た下駄が土竈の下で半分焦げた、モゥ履くこごも出來ない、但し竈の下で何こも彼こも云へない好い匂ひが致しますので通り掛りの者が皆な鼻を動かして往く足を止めて鼻をピク〳〵させる者もあ、同町内に住んで居る藥種屋

だ』こ亭主がキャラ〳〵こ笑ふこ女房も『貴方お前さん、有難かつたねね』こ是れもゲタ、ケタ笑つたさうで、何うやら噺らしいお話し、如何に綱宗公だこて伽羅の下駄はお履になりやアしませぬ、實は引手茶屋尾張屋清十郎方で伽羅の名香をお焚きなすつたのを世頃の人が尾に尾を付けて言ひ觸らした、豐臣秀吉から伊達政宗に下し置かれました伽羅の名香、これは一木三名こ云つて加賀こ細川こ仙臺の三家に下し置かれました、皆な家々で名が變つて居つた、細川では白菊、加賀では初音、伊達の家では柴舟こいふ、仙臺の柴舟の、『世の中はうきをみにつく柴舟の、たかぬ先より焦れこそすれ』細川のが『たぐひありこは云はん末匂ふ秋のかたみの白菊の花』加賀のが『聞くたびに珍らしければ郭公いつも初音の心地こそすれ』斯ほごの名香だ、尾張屋清十郎の二階でお焚

遊ぶこ云ふ何うも大層な逸品です、隣の家が鶴屋吉兵衞こ云ふ引手茶屋で毎度々々來ては至極遊びをするのが日本橋四日市の干魚問屋、佃屋政五郎こ云ふ、相も變らず今日も來て藝者幇間が座を取持ち、面白可笑く飲んで居つた、大盡々々こ大勢に持て囃されて今大愉快、所へプーンこ香つて來たのが柴舟の匂ひ、『大層好い匂ひがするが、何政』『大盡ありやアお隣の尾張屋さんで此頃お通ひ遊ばす芝口の仙臺の殿樣が伽羅こやら云ふ名香を焚いて在つしやるので

京城長谷川町纖冷溫泉前
內科・痔疾花柳科・一般外科
岩田病院
正五位勳三等 岩田末彦
入院隨意 (電話一六二〇番)

六道溝道路問題

滿鐵附屬地以外の六道溝に於ける民團官有地域内は近來鴨綠江製紙鴨綠製材山葉其他の大會社設立されしため大道路の必要迫りたるが現在は恰も野原に家屋を雜たるが如く道路こしての道路なきため去る二十七日行政委員・管理所委員地方事務所關係者親しく實地踏査を爲したる結果道路の完成を期すべく縱橫に道路を開くべく設計中なれば同道路工事に着手し竣成の上は同方面の交通益々繁くなるべし

◎專務取締役更迭 安東興業株式會社專務取締役小田原貫吉氏は今般東拓關係のハルビン某會社に榮轉する事となりたるを以て其の後任こして東亞木材株式會社常務取締役永末榮一氏就職する事こなり去る二十日專務の引繼ぎを爲せり因に小田原貫吉氏は二十五日午後九時二十分發列車にて出發ハルピンに向へり

十月八日

舊八月十五日 水曜日 みづのえ 三碧

▽一白△何事も注意を要する日。
▽二黑△不平起り易き日なれど辛抱すれば却て引立らる、事あり
▽三碧△金錢に縁ある日なれど酒色に迷ふ時は不可なり其他吉
▽四綠△住所の動き又は旅行の象あり物事七八分通凡て叶ふべし
▽五黃△活潑なる日にてハキハキする日なれど餘計意なき日也
▽六白△東角に延引勝の日なり
▽七赤△病氣を注意すべき日也
▽八白△名譽の揚がる日にて願望の強き日也但短慮の注意の事
▽九紫△名の揚る日なれば成可く愼みて吉運を逸する事勿れ

車手卸賣 値段(運賃貨店持)
百匁品 拾打に付參拾壹圓
六拾匁品 同 貳拾五圓五拾錢
參拾匁品 同 拾壹圓五拾錢
百打以上の注文は各品共壹打に付拾錢引
送賀縣八日市町
野村手套製造所

懸賞募集

(見逃し)用意深い御婦人方の經驗談

‖御婦人方はキッこ嬉しい‖こ思召す實際的の催し事

今回婦人方が
1 日頃の生活でお困りになつた事項
2 現在もお困りの事項
3 營て御苦心なさつた事項
其の何れでも日常生活上の成功失敗に拘らず實地御經驗を有のま、伺つてそれに對する研究を致しまして御婦人方の唯一つの味方である化粧調査會の責任を完全に果したいこいふ處から今後毎月懸賞で以上の經驗談を募集することになりました其の第一回は

第一回課題 私の化粧法

であります御經驗の要領こしてお化粧をなさるのにお困りになつた點
1 化粧料を選定になつた經路
2 現在のお化粧の仕方
3 現在御使用のお化粧料
4 現在御使用のお化粧料の御批評
5 の要領を一行二十字詰百行以内に書き綴つてお送り下さい。原稿には住所名氏を明記せられること但し發表誌上の匿名は御隨意です

△應募の原稿は本會の顧問協議員たる美容術大家嬢波美婆、マーリルウ井ズ、小口美知子、遠藤波津子の各氏に於て嚴正に審査の上

一等(金二十圓)一名
二等(金十圓)二名
三等(金五圓)五名
四等(金一圓)十名
秀逸(本會選定の化粧具一具)百名

以上の賞金及び賞品を贈呈し尚十二月及び一月の『家庭願問』誌上で當選を發表します
△募集の締切は十月三十日こし封皮には『懸賞應募』こ朱書して下さい
△應募原稿は東京市麴町區上六番町二六家庭顧問社
△尚ほ化粧調査會の組織内容は左記宛御照會になれば會の事業性質等の内容を詳しく書いた冊子を無代で贈呈いたします
東京市麴町區上六番町二六
化粧調査會

本會顧問賛助員及協議員
子爵夫人鍋島榮子●法學博士農學博士新渡戸稻造●東京女子高等師範學校教授二階堂トク●女子大學校長麻生正藏 ...
嘉悅孝子●女子實務學校長河口愛子●女子商業學校長 ... 東京女子醫學專門學校長吉岡彌生●東京女子體操音樂學校教授久野久子●法學博士 ... 美容法研究大家藤波 ... 美容法研究家 ... 東京高等女學校長秋田秋子●成女高等女學校長宮田脩●三宅花圃●醫學博士島峰徹●實踐女學校長下田歌子
宮家御用美容術大家 マーリー、ルイーズ
協議員美容術大家 遠藤波津子
協議員美容術大家 小口美知子

有識階級の要求に應ずる治病補助機關は
處方を公開して
責任を明かにせる
本邦唯一の
◎ミツワ家庭藥に限る

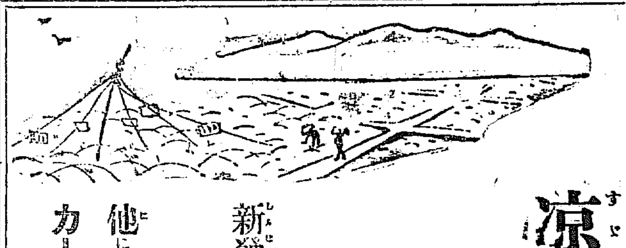
ミツワ家庭藥の種類、主効及定價 (内地以外は關稅運賃を加ふ)

品名	主効	容量	定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐・胃痛等	百錠入	貳拾[illegible]
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	[illegible]	[illegible]
ミツワ制瀉錠	酒の過飲・惡醉・頭痛・惡心・嘔吐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便秘等に常習便秘症	[illegible]	五拾錢
ミツワ止瀉錠	急性慢性下痢其外諸種の下痢	[illegible]	四拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し腸胃病を豫防す	[illegible]	四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸内寄生蟲驅除及豫防	[illegible]	四拾錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身爽快・口中病豫防	紙盒入	參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	[illegible]	貳拾五錢
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	[illegible]	四拾五錢
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎭咳	百錠入	壹圓二十錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肺膜炎・腹膜炎	百錠入	貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・肺結核・精力減退等	[illegible]	貳圓五拾錢
ミツワ・復方人參錠	動脈硬化・高血壓・心臟病等	百錠入	參圓七拾錢
ミツワ頭痛錠	頭痛・不眠・神經病等の如き神經病	百錠入	壹圓廿錢
ミツワ婦人藥	婦人生殖器病・貧血・月經血の道	八十錠入	五拾錢
ミツワ婦人坐藥	白帶下・子宮内外膜炎・膣炎等	六個入	五拾錢
ミツワ治痔藥	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセ入手個	壹圓二十錢
ミツワ淋疾洗滌液	淋疾性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附入	五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附入	拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・蓄膿等	壜入	參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入	貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入	參拾錢
ミツワ胸腹錠	喉頭・肺・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入	貳拾五錢
ミツワ傷痛治	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入	四拾錢
ミツワ殺蟲液	頭蝨等總て蟲に驅されたる場合	大壜入	五拾錢
ミツワ發毛液	脫毛・頭脂過多を防ぐに用ひらる	壜入	五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・各陰臭・手汗・足汗等	壜入	參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫・皮膚糜爛	紙盒入	貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛蝨・擦過傷等	硝子器入	拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痓瘡膏	痓瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬・殊に陰囊・白癬・濕疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚剝裂・水蟲	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂等痔一切	六個入	四拾錢

特長
一、處方を明記し内容を公示す。
一、處方的確にして奏効顯著なり。
一、製劑精確にして効力一定不變なり。
一、藥品純良にして中毒の危險無し。
一、容器完全にして變質の虞無し。
一、内服藥は錠劑にして服用し易し。
一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

醫學士 小山田 謙編
家庭治療法
四六版本裝二三〇頁
本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に教へたもので、醫師にかかるまでの親切な相談相手である。定價金五拾錢、但し金廿五錢(郵券代用不苦)を添へ申込あれば一册送呈す。

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
ミツワ人參葡萄酒
ミツワ規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ◎
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
登錄商標
丸見屋商店
電話浪花二一〇・二一一八・四四九・四五〇番



凉風の吹く初秋の
野外遠足
の日ヤケ風ヤケ肌アレを絕對に防ぎ
天性の美を現はす不思議な作用のある
新發見 ホーカーパット

他に類のないホーカーパットの特長
□色を白くキメを細かにおハダを滑らかにし
□日ヤケ風ヤケ肌アレを防ぎ色艷を好くす
□一度で如何なる年増も見違へる程若くなり
□化粧が崩れぬ穢ないから隱化粧料こしては日本一
□顏を醜に鼻を高く見せ顏る上品こなり
□子供の顏剃に用ゐて剃刀かぶれの憂ひなし
□全國到處の信用ある化粧品店小間物店藥店にあり若し品切れの時は切手又は振替にて直接本舖へ御注文を願上げます
(定價三十錢 送料内地六錢)
ホーカー本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店
電話神田一四三・一四四・一四五 振替東京一五六

入院隨意 内科 小兒科
毎日五名を限り施療す
貧化病院
京城明治町一丁目 電話二四四番
醫學博士 古城憲治
金澤醫學士 打田義芳

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話一〇四四番)
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

カタノコリ神經痛リウマチス其他諸痛所に卓効有
貳拾枚 四枚 貳拾錢
拾貳枚 五拾錢
廿五枚 壹圓
東京日本橋區箱崎町 東京製藥社
全國到所の藥店に有

滿七歳以下のコドモかぜねつさまし
醫學士山口先生御方劑 醫學士稻垣先生御證明
家庭の必備藥
オイシン
特長 最新高貴藥配伍 小兒に服用し易く 些も副作用なし
○かぜねつ はやりかぜ、はしか、肺炎 百日咳ねつ 一切に効有
定價 十五錢 三十錢 五十錢
本舖 丹平商會藥房

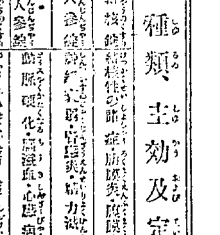
京城西小門町一二二番地
田中丸病院
入院隨意 普通病室隔離病室の設備あり
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫學士 上野和夫
電話 八八五番

警務局衞生課御用
虎疫流行の時
最も的確なる殺菌力こ蠅及其幼虫を斃すには
特製クームヒンの御使用を
製造元 京城旭町一丁目 電話二〇七八番 京城元町二丁目 電話四二四番
振替京城三〇九六番
山田禎輔
特約店 新井藥房 山口天佑 鳥入支店 森川藥店

外科 皮膚科
瀨戶醫院
京城旭町二丁目(府三丁目)
(診察夜九時迄 電話二四九八番)
醫學士 瀨戶潔

御化粧用
ベスパー石鹼
VESPER TOILET SAVON
萬玉洋行

營業品項目
一、アスベスト板(其他)
一、アスベスト綿石綿加工品各種
群山港錦町十二番地
朝鮮石綿礦業所
礦山 忠清北道淸州郡 同 同 同 同
所在 京畿 道揚平郡...

山邑太左衞門釀造 兵庫縣灘魚崎
宮内省御用達


櫻正宗櫻魂發賣元
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓
株式會社 第一銀行 京城支店
京城本町一丁目 電話 三一・一七・八六 振替貯金京城二一八番
支配人 竹村利三郎
取 佐々木勇之助

痔疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中央)
京城久枝肛門病院
電話二一〇

京城日報　第五版
（年中無休刊）
發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　電話番號　長六千九番　二千九番　振替京城三〇〇番

驛屯土の由來（上）

朝鮮政府の財政中に、驛屯土收入と稱するものがあつて、年額百五十萬圓餘を算して居る。此の如き名稱の財源は、內地は勿論臺灣其他にも見得られぬもので、其の來歷を知らぬ人には一寸頭を捻らせる代物である。過般中樞院に於ける時局談演會の際にも、其の會員中より驛屯土は其の所在地の人民に拂下げて貰ひたいとの希望が出て居るが、之が即ち該財源の發する土地を指したのである。此の土地拂下は年來の宿題であつて今日までまだ解決せぬのであるが、さて驛屯土とは如何なる來歷のもので、今日如何なる狀態の下に在るかといふことは、此の問題を解決するに必要の知識と考ふるが故に、其の概要を說述することゝする。

一口に驛屯土と稱するも、正確に云へば驛土と屯土との二者である。驛土は舊驛站附屬地の總稱で、其收穫を以て驛站の費用を支辨したものである。驛站の制は、新羅朝時代に既に存在し、高麗を經て李朝に至る迄千數百年來繼續したものである。其の制度の概略をいへば、當時公用の文書若くは物品を遞送し又官吏が公用に依つて地方に出張する場合、或は外國の使節が入國した時に、其の旅行に必要なる馬匹人夫其他一切の用品、並に其等の人々の宿泊供膳に要する資料を支辨する爲に、各道の主要の地、及び道郡交通の道路に於て、四十里（舊朝鮮里數）毎に一驛站を置き、驛長副驛長をして之を管理せしめ、常に人馬を備へて交通の便を圖つたのである。而して此の驛站に所屬する位土は、大路は廿結、中路は十五結、小路は五結といふ樣に種々の等差を附してあるが、其取締は頗る嚴重で、察訪と稱する役人が直接に之を監督し、全國の驛站は兵曹に於て統轄し萬一驛土を賣買するものは嚴刑を科せられ、其の荒廢したる場合には、直ちに他の國有地を以て補塡せらるゝことゝなつて居た。晩近に至り、郵便制度を採用し、又官吏の旅費支給規則を制定するに及び、驛站の制を廢し、驛土の管理は農商工部に移つたが、其後宮內府經理院所管となり、又度支部に移屬し、明治四十年以後は秩序的に國有地小作料を徵收し、驛屯土臺帳を作成し、其の收入を國庫の歲入とした。驛土の小作人は、其の小作權を他人に賣買質入［illegible］貢賦をなすを得ず、小作契約は五箇年毎に更訂し、小作料の徵收は地租徵收方法を準用することゝなつた。小作人が其の土地の形狀を擅まゝに變更し、又は土地を荒廢に歸せしめ、又は小作料を滯納して納入の見込なきとき、其他不正の行爲ある場合に於いては、小作契約を解除することゝした。之と同時に宮內府所管の營庄土、一司七宮陵園墓位田、牧位田、竹田、寺田、畓洛田、渚田、果木田、公廨基址田、烽臺、桑田等いづれも驛土と同樣の取扱ひを爲すことゝなり、之を驛屯土の總名の下に置いたから、現在の驛屯土なるものは、驛土屯土以外、各種の舊國有地（正確にいへば李家の所有地）を包含して居るものなるを知らねばならぬ。而して特に注意すべきことは、驛土の所在地は前にいふ如く各地に於ける主要なる地點たること、又宮內府より移轉せる各種土地の如きも、亦頗る肥厚にして便利の場處たることである。

朝鮮歷史の調査に就て（二）

京大教授　三浦博士談

然れども古墳の發掘せらるゝものは概ね多くの年處を閱して何人の陵墓たるかを辨識すべからざるものにして、且つ其の多くは古來是れに埋藏せらるゝ貴重の金品を獲んが爲め鮮人の盜掘を經、其藏品は悉く［illegible］して朝鮮に內地に將た又歐米にも散在する所なり。總督府の發掘は是等盜掘者の誤つて取り漏らせる殘物を拾集し彼等の掘り荒したる後を善くするに過ぎざること往々是れあり。而も全く學術的見地に立脚して私意を挿はさまず、既に從來發掘せられたるものだけにても無數の貴重品を含み、中には樂浪古圖の類に職せながら實物の眼福ならざりし者さへありて依て以て東洋古美術の闡明に裨益せしもの決して少小にせず。初めより此事業に關興せる關野工學博士が是れに依りて佛國學士院賞を得られたるを見ても其世界的に貢獻寄與せる一大偉業たるを證すべきに非ずや。

所謂朝鮮調査中朝鮮人の營爲の中には內鮮人の教育に著しき差別あることゝ、朝鮮の歷史を教へざることゝを數へたり、所謂朝鮮の歷史數授を差控ふる方針に就きては、余私に意見なきに非ざれども茲には暫く是れを說かず。論者の旨趣が古蹟物の散佚を慨して若し朝鮮の歷史記錄を堙滅せしむるにありとせば又其の謬を解かざるべからず。

生別死別

（不許無斷興行）　服部硯月

第十六　新聞記事

折柄玄關に客來の聲がする。取次に出た山田が慌だしく病室に這入つて來た。

『酒井さんがお見ねになりまして、今日新聞で旦那樣の冤罪の雪げた記事を拜見し、其のお悅びに伺つたとの事で御座います。』

『何？、彼の冤罪が雪げた！新聞に？、何新聞に？』

砥上は重い頭を枕から擡げ言忙しく尋ねた。

『何新聞で御座いますか、私も能く承はらずに參りましたが、未だお客樣はお玄關にいらつしやいます』

晃は傍から、『でも阿父さん此室へお通し申しませうか』

『火鉢だけれど此室に願はう』

『ぢや山田、甚だ失禮で御座いますがッて、此室へお通し申して呉れ』

酒井は導かるゝ儘病室に這入つて來た。

砥上は上半身を起して

『酒井君、度々お見舞ひ下すつて有り難う、今聞けば新聞に何か僕の事が出てゐたとか、何新聞ですか』

酒井は起き上らうとする砥上を制するやうに

『どうぞ其の儘に……あの今朝の日東新報です、御當家にも取つてお出でのやうでしたから持つて伺ひませんでしたが』

砥上は漸く身を横たへ

『日東新報に？晃、今日のを持つてお出で！』

『ハイ、今直ぐ收つて參ります、うつかりして今日のを未だ讀みませんでした、』

豈獨り今日のみではない。此四五日、十日ばかりと云ふものは、新聞を讀むところではなかつた、父の病氣を心痛して何事にも手がつかなかつた、毎朝配達する新聞は空しく書生部屋の山田の机上に積重ねられてある。早速今日のを取寄せて擴げて行くに『教科書事件餘聞』なる標題の下に『砥上視學官は冤罪』との小標題さへ三號活字で記されてあつた。

――文部省視學官砥上忠雄氏が教科書事件に關聯して檢擧されたる事は當時社會の耳目を衝動せしめたる處なるが同氏を知る者は何れも氏が平素の人格行爲に鑑し決してあり得べからざる事と疑訝の念に打たれゐたるに果して近時に至り他に中途にて物品を拔取したる狡者現はれたり犯人は未だ縛に就かざるを以て其の犯人の姓名及び事實の眞相を報道する自由を有せざるも聞く所に依ればある井上警部大郞氏が精探の結果犯人を突止めたるものにして犯人は予て動靜偵察に常に留意したりき吹聽しゐたるが教科書事件の物證と同時に罪貨の發覺を恐れ巧みに所在を晦ましゐたるが井上老探偵が探知し目下捕縛の爲め北地方に出張中犯人の就縛を見る將に近きにあるべし。』

晃は讀み終つて

『阿父さんこんな悅ばしい事は御座いません、』

『井上と云ふ人はどんな人だか知らんが、能く俺の爲めに冤罪を雪いで呉れた、實に感謝に堪へない、併し新聞の記事丈けでは安心は出來ん、犯人が捕つて私が取りました、と白狀しない限りは未だ俺の無實が明かになつたとは云はれない。』

芳三郎は砥上の言葉を聞いて勵ますやうに、

『忠雄さんのやうに云へば際限がありません、千圓の債券が紛失して高飛びする位だもの、間違ひッこが無いぢやありませんか、ね、酒井さん、さうでせう。』

『まアさうした物でせうか』

酒井は新聞の記事を悅んで早速知らせに來たにも拘らず、何となく沈み勝に、今芳三郎に呼かけられても名のない返辭をして俯向いてゐる

『芳三郎君、御苦勞だが明日にでも其の井上と云ふ人刑事の家に行つて樣子を訊いて來て貰れませんか、或は未だ地方から戾つてゐないかも知れんが、斯うして待つてゐたところで證方が無いから、さうして又一つは禮も述べて來て呉れ給へ』

『承知しました、譯はありません、が宿所は何處でせうか』

『警視廳に訊いたら分る、番地を聞く丈けなら電話で尋ねたつて差支あるまい』

酒井は談話の途中を見計らひ

『どうかお大切に遊ばします樣、又お伺ひ致します』

『何ども酒井君有難う、君が來て呉れんければ全く知らずに終るところぢやつた』

『ありがたう御座いました、お蔭で病人がどんなに氣丈になりましたか知れません、結局病氣の起因も氣苦勞からですから之からは舊時の身體にかへりませう。』

『さうお成りになると誠に此上も御座いません』

酒井は斯う云ひはしたもの、最前から何だか氣の進まぬらしくそこ〳〵に暇を告げた。

京城覆審法院判事　切山篤太郎

苦心の大發明　人力發動　製材機

一足ふめば人力發動機の作用で鋸は疾風迅雷の速力を以て一分間二千二百回轉し一時間一千六百才を製材す　深山の木材伐出用に最便　發動機も電氣も水車もいらぬ◆機械一臺タッタ貳百參拾圓　購入希望者に限り說明書進呈す　試驗歡迎　大阪江戸堀　帝國特許機械製作所　京城黃金町一丁目一五九番地（三井物產株式會社向側）電話長一二八六九番

朝鮮中等學校入學準備　訂正再版　豫習國語　定價六十錢　送料六錢

本書は朝鮮に於ける小學校普通學校卒業生にして進んで朝鮮內各中等學校に入學せんとする者の爲めに編纂したり
◆本書編纂に關する參考資料◆
小學校六年級國語讀本大正八年度使用書十一卷及十二卷
朝鮮に於ける大正八年度入學試驗問題
◆特色◆準備の爲め實力を增加せしむる爲めに國語科教科書十一卷十二卷の各科の單語、成語、語句を摘出してこれが音訓及解釋を附したり
特に必要と認めたる文及語句は之を摘出して解釋を附したり
朝鮮に於ける中等學校の入學試驗問題を大正八年度に至る迄全部これを網羅せり
入學試驗問題には答案を附したり
姉妹篇豫習算術は拾月末出版の豫定
京城本町二丁目　振替京城壹壹五　日韓書房

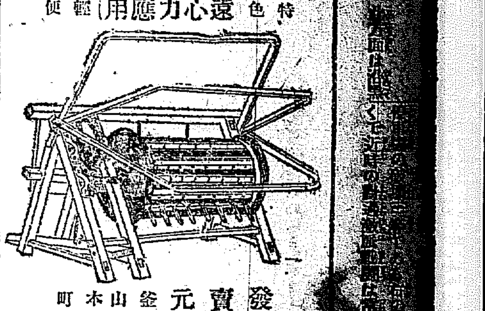
平壤京谷商店製　耐火煉瓦販賣　京城古市町　苫米地商店　電話九四一、三一〇八番（1）　振替京城五三三番

滿鮮の觀光・修學旅行
法學博士 農學博士 新渡戸稻造先生序文　法學士 植村寅先生新著　『朝鮮』（內容一斑）　定價［illegible］

商工業視察者の好伴侶
青年の 滿鮮產業見物　［「滿洲」「朝鮮」內容 illegible］
發兌　東京日本橋 京城本町　大阪屋號

謹告
今般當社代表社員高瀨政太郎死亡致候ニ付代表社員ヲ福永政治郎ニ變更致シ候間此段謹告仕候
大正八年十月六日　高瀨合名會社

奧野式　廻轉稻扱機　特色　遠心力應用　輕便



發賣元　釜山本町　朝鮮勸農商會

大連汽船株式會社　大連市山縣通　電話九六六・六三四番

生活改造號　婦人之友　十月號
時代の要求する家庭生活の組織　羽仁もと子
生活改造は何より著手すべきか　七十三名家の回答
改造の程度　三宅博士
生活改造の實現
食糧の官營と結婚
法の遵守を誡む
直ぐに實行の出來る生活改良案
惱める友へ
定價卅錢 郵稅二錢　半年郵稅共一圓九十錢　東京雜司ヶ谷　婦人之友社　振替東京六〇〇

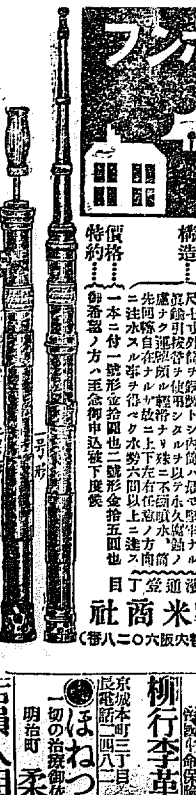
測量學速成講習會　最新式通信教授を以て測量學の一般を授け測量技術者養成速成三ヶ月修了の講習生を募集す　詳細規則無代進呈　東京市日本橋區南傳馬町　通信工手學校

テント シート 製作販賣
△各種雨覆類　布ホース類△
△麻布綿帆布　縫糸各種△
△其他修理品は迅速叮嚀に取扱可申候△
日本製麻會社 帝國製麻會社 製品販賣店
京城府龍山元町二丁目五二　電話一五一番　カナヘ商會　龍山シート製作所

法制研究會編　文官普通 判任見習 巡查　試驗問題集
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の採用試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の實況及程度を知らしめ必勝の幸運を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏の此の書を通讀して其の適否を研究せらるれば得る所多かるべしと信ず
菊判半形紙數一百二十頁◆定價金五十錢◆送料四錢
發行所　京城本町二丁目　ウツボヤ
賣捌元　京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

國民思想涵養叢書
我國文化の正統を發揮し外交思想の採擇にも又嚴正なる批判を失はず思潮問題の紛糾甚しき秋に際し平易簡明の讀物として一般讀書界に斯の叢書を薦む（第五編以下續刊）
第一編　亞細亞主義　文學博士澤柳政太郎著　定價五拾錢 郵稅六錢
第二編　國防の本義　海軍中佐溝部洋六著　定價六拾錢 郵稅六錢
第三編　儒教より見たる現代思想　文學博士服部宇之吉著　定價六拾錢 郵稅六錢
第四編　日本の國體美　海軍中將佐藤鐵太郎著　定價五拾錢 郵稅六錢
發行　株式會社　大鐙閣　東京京橋區南三休町 大阪市東區北濱　振替東京三二七一 大阪一六五五

火事とポンプ



敷島號輕便ポンプ
用途……各工場會社及一般家庭ニ常備シ防火用トシテ偉効ヲ奏スルノミナラズ農家ニアリテハ果樹ノ害虫驅除或ハ園藝器具ニ應用シテ妙ナリ
取扱……簡單ニシテ力ヲ要セズ婦人小兒ト雖モ使用容易ナリ
構造……外側防錆ノ爲メ全部眞鍮製ニシテ最モ堅牢ナリ
價格……［illegible］
特約……御希望ノ方ハ至急御申込被下度候
製造所　大阪市北區堂島濱通一丁目　合資會社 三ツ米商社　電話北一五五一番　振替大阪六〇二八番

理想の萬年ペン　ウオーターマン　新荷着
セエフチー萬年ペン　全安
四十二號　六圓五十錢
七百四十二號　八圓五十錢
十八金　［illegible］
萬年ペンカタログ　申込次第進呈
京城本町　篠崎文具店

プラトン　インキ

重要記錄に安心して使へる最新式の耐久インキ
萬年筆用　帳記用　簿記用　證券用
二手販賣元　中山太陽堂　文具部

公告
一、本年十一月八日午前十時京城學校組合［illegible］

京日案內
▲申込後中途掲載中止は料金不返　▲六回以上の申込は特に割引　▲照會は返信附に非ざれば回答せず

店員入用　希望者本人來談あれ　義州通一丁目　吉門商會

乳母入用　京城太平通二丁目四五番地　電話六九八番　更科支店

店員入用　年齡廿歲位迄充分優遇す　龍山　島田中［illegible］

植字解版工募集

外務社員募集

高級外務員招聘　京城黃金町二　太平生命

八千代生命

西洋料理すき焼　中華料理　明治町二丁目

コレラ豫防藥　クレオソート丸新荷着

自動車　電話一一四七　榮洋行

御袴專門　京城本町四　山崎袴店

勤社員及集金人入用　京城黃金町一ノ八五　帝國生命保險會社京城支店

柳行李革鞄專門

ほねつぎ　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場

店員入用　希望者至急來談あれ　京城明治町　木村屋

青木鐵之助

屋敷渡し

平家

記帳係入用　京城南大門通

電話賣物

鐵道大罷業
交渉斷絕と政府
現下の急に處すべき對應行動

倫敦に於る鐵道從業員對政府との交渉は交渉再會前復業せよとの政府の態度強硬なる爲め交渉斷絕りと發表せらる政府は餘儀なく市民軍に對し現下の危窮に對應する行動に出でん事を求めたり(倫敦電報)

示威運動始まる
交通大臣罷業者に包圍せらる

二日の政府及び鐵道罷業者協議會は遂に不調に歸し當分解決の見込無し激昂せる罷業者はドウニング街に於て示威運動を行ひ主として政府側の交渉の任に當れる交通大臣サー、エリック、ゲーデス氏は罷業者に包圍せられ危難に會せんとし危まれたるも警官の爲め漸く救ひ出されたり不安の形勢依然として變化無し(倫敦電報)

警察官と大衝突

ゲリー發電同盟罷業中の鋼鐵從業員と警官との間に重大なる衝突ありたる結果州兵第十一個中隊を召集せり(倫敦電報)

修正案全部否決

米國上院は賠償委員會に米國が參加せざる事とする修正案の外米國の國際委員會參加に反對せるフオール氏提出の講和條約修正案三十六箇條全部を否決せり(華盛頓電報)

ダ氏の全半島占領

ダヌンチオ氏は全イストリア半島を占領し今後十五日以内にてユーゴースラブと戰爭狀態に入る可しといへり(紐育電報)

米大統領の重症

四日夜發表の容態書に據ればウイルソン氏を以て重症患者となせり(華盛頓電報)

總理の代表者引見
和議と提案八箇條中の三箇條

新總理は江蘇督軍李純の代表者何恩溥氏を引見し『南方は唐紹儀の提案八箇條中最初の三箇條を先決せざれば和議を開かずと主張し居るが右の中日支軍事協定廢止は南方の要求無くとも北京に於ても取消の運動を爲しつゝあり民國四年の日支協約は支那の一方のみの意見にて取消し得べきものに非ざれども是れ亦徐ろに便法を設定せんとしつゝあり又高徐濟順鐵道契約は假契約なれば將來本契約を結ばざる方針なり故に李純より右の趣を南方に通じ南方が若し飽く迄三箇條を先決せざれば和議を開かずと主張せば和議再開の意無きを證され度し尤も南方にして以上の提案あらば是れを聞くべく必ずしも絕對拒絕に非ず然れども南方にも明察の士乏しからず外交上の手續の如何に困難なるかは熟知し居る筈なり』と語り李純に對し調停の勞を取らんことを懇望し何恩溥氏は直ちに右の和談を李純氏に電報せり(北京特電)

上海會議の絕望

上海會議は全然絕望となりたれば政府は最後の方針として軍政府方面と直接に電報にて和議交渉を爲すに決し既に是に着手せり但し王揖唐氏は當分上海に滯在の筈なり(北京電報)

毛織會社合併
東京毛織と滿蒙毛織

東京毛織株式會社と滿蒙毛織株式會社との合併は六日の協議會に於て左の條件にて正式に決したり

(一)滿蒙毛織を東京毛織會社に合併す
(二)滿蒙株二株につき東京毛織一株を交附す(三)滿蒙毛織の取締役二名は東京毛織に其の儘就職せしむ(四)滿蒙毛織の從業者は其儘採用し從業者の勤續年限を加算する事(五)取締監査役二名乃至三名を加ふる事は支那人との關係あれば合併後に協定することその他(東京特電)

朝鮮行の巡査
六百餘名招待

日本赫和會にては六日午後三時より大手町私立衛生會にて六百餘名の朝鮮行巡査を招待し第二回送別會を開き江原素六氏開會の[illegible]

支那綿針需給 [illegible]

の挨拶を爲し次いで床次內相に谷男の訓示的演說あり後各自に折詰を配布し盛會の裡に散會せり(東京特電)

宮城選擧結果

宮城縣補缺選擧の結果八千五百九十六票菅原傳氏八千零三十六票荒井泰治氏の成績にて政友會側の捷利に歸せり(東京特電)

神戸港內に於ける
船火事
積荷棉花燒失

香港より棉花六千梱其他雜貨を搭載して神戸に入港し第一突堤に碇泊中なりし大阪商船汽船西貢丸(六千五百五十三噸)は五日午前五時半頃燻突左側石炭庫より發火したるを火夫鈴木金次郎事務員櫻井保の兩名が發見して大騷ぎとなり水上署よりは直ちに消防隊に急行し又東消防署よりも消防隊駈付け水陸相呼應して鎭火したるも容易に鎭火せず[illegible]

御救恤
朝鮮暴風被害
千五百圓下賜

陛下には本年八月上旬朝鮮慶尙道管內暴風雨の爲め被害少からざる趣聞し召され御救恤として金一千五百圓を同府へ御下賜の御沙汰あり波多野宮相は齋藤總督に傳達の手續をなせり(東京特電)

掀る燒き船舶に延燒したるを同七時に至り辛うじて消し止めたるが原因取調中損害は約二十萬圓の見込なりと(神戸電報)

鐵道同盟罷業と英國危機
在東京 一寄書家

◎九月二十六日を以て開始せられたる英國鐵道從業員の同盟罷業は所謂青天の霹靂にして、今や罷業參加人員百萬を算し、英國全鐵道は全く其運轉を停止するに至りたるが如きは、資本家階級よりも、寧ろ國家に對する一大挑戰と謂はざる可からず◎鐵道從業員の要求する所は、戰時特別手當を含む現時の賃金を今後永久に支給すべしと云ふに在りと雖も、英國政府が、本年十二月三十一日まで、現給を支拂ひ、爾後若干之を引下ぐべきも、現在の物價にして、今日以下に低下せざるに於ては引續き戰時賃金を支給すべきを保證し、彼等の熟慮を求めたるに拘らず、從業員が飽迄も其主張を固執し、遂に同盟罷業を開始したりと云ふに於て、其の行動の非國家的なるを否認する能はず◎英國首相ロイド、ジョージ氏の演說中に『予の長き且つ複雜なる經驗に徵するに、曾て如何なる同盟罷業と雖も、今回の鐵道罷業の如く輕率に、且つ正當なる理由を缺き、公衆の利害を無視して行はれたることあるを知らずとの結論に到達せり』と云ひ一歩を進めて同盟罷業の原因を論じ『政府は該同盟罷業が少數なるも、極要なる立場に在る人々に由りて指揮せられ、彼等は其の自身の邪惡なる目的の爲に、不斷に且つ陰險に國家の勞働團體を利用せむと試みつゝあるものなりと信ずべき理由あり。予の英國に於ける勞働組合員の大多數は此無政府主義者の陰謀に反對し居りと信ず』と云ひ、最後に英國政府の決心を語り『政府は英國の社會全體の上に投ぜられたる此挑戰に對し國民の利益の爲に、之に應戰する以外に、方法を有せず政府は公衆の安寧に對する此打擊に向つて、政府所管の一切の資源を擧げて之に對抗せむとす』と云へるもの、吾人は其一面の眞理あるを認めざるを得ざる也◎英國の勞働者が果して露國の過激派思想に感染したるや否や鐵道罷業者が果して無政府主義者の煽動する所と爲れるや否や吾人は未だ之を詳にせずと雖も事實上、鐵道罷業の行動たる、國に取りては、國家の基礎を危殆ならしむるものなり、萬一ば、英國は全く過激主義者の左右する所と爲り、如何なる混亂狀態に陷らむも未だ知る可からず。吾人は、此の最大危機に際し、英國政府が確乎不拔の決心を以て、速かに善後の方法手段を講じ、勞働問題を根本的に解決せられむことを希望せざるを得ざる也(十月二日)

葉莨需給と價格
朝鮮葉莨の突飛高

朝鮮に於ける葉莨は年々其の產額を增加し大正八年には內地種七十五萬貫在來種二百九十八萬貫黄色種三十五萬貫の豫定なりしも中部及び西北部地方の旱魃並に南部地方の水害等に依り二三割方の減收を來すもの、如し然れども此の外**自家用煙草**として百萬貫內外の生產あるあり從つて鮮內の需要としては決して不足を來すことなしと思料せらる然るに一面葉莨の取引狀況を見るに大正七年頃より歐洲戰亂の影響として米國を始め其他の產地に於ける莨の生產著しく減少し而も戰地に於ける需要激增し爲に莨の缺乏は殆ど世界的となり遂に朝鮮葉莨の輸出を促進し大正七八年に於ては略二十六七萬の海州輸出を見るに至れり而して之が爲葉莨の取引は急激に好況を呈し價格の如き大正六年秋に於て在來種一貫平均七八十錢なりしもの**大正七年秋**に於ては一躍一圓三四十錢となり其の收徑の大なること畑作中殆んど他に匹儔を見ざるの狀況となれり然るに昨今に至り更に**專賣制度施行後に於ける買收價格を思惑し**所在買煽りの氣味を馴致し價格は日に日に躍進の傾向を呈せり然れども外國市場に於ける價格は益々大戰の餘勢にして產業の恢復と共に葉莨の生產を增加し既に昨今に至りては概して漸落の形勢を辿りつゝあるもの、如し故に今後に於ても特殊の事由なき限り從來の高値を維持し得べからざるは之れを逆睹するに難からず又專賣施行を豫期し買煽りを爲すが如きは特に愼まざるべからず專賣制度の果して明年度より施行せらるゝや否は之を確聞せざるも假りに施行せらるゝとせんか葉莨は當然之を**政府に徵收せらるゝ其の價格は一定の標準例令生產費、對抗作物並製造煙草の價格等より打算し標本に照合して決定**せらるべきは內地賣買價制度實施の場合と異ならざるべく決して各個人の買入價格に依るが如きことなきは明なりと思料せらる。元來朝鮮に於ける煙草の嗜好は近時著しく製造煙草の需要を喚起し凡て上級品の賣行良好と爲りつゝあり故に葉煙草の價格も之に伴ない漸時昂騰しつゝあるは勿論なるも一二年來葉煙草の輸出其の他の爲價格異常の騰貴を爲し而も製品の價格之に伴なはず兩者の調節漸く困難なるの狀況に在るもの、如し今內地專賣局に於けるものと對比するに鮮內に於ける葉莨の賣買價格は概して一貫當り四五十錢高値にして而も製造莨は三四割方低位に在り故に斯る葉莨の價格を以て推移せむか更に製造莨の値上げとなり其の結果は**需要の減退**となり一輸出其他の用途不況に陷るに於ては再び大正二三年時に於ける不況の轍を踏み生產過剩の憾を來す虞なしと云ふを得ず元來特良なる葉莨の外國市場に於ける聲價を維持するの困難なれば之を想察するに難からず此點に於て朝鮮葉は到底土耳古又は米葉と比肩し得るものにあらず故に需要者並に耕作者の利益を確保し健實なる發達を期せんとせば鮮內に於ける需給の調節に其の基礎を置いて第一要件とすべし從つて製造莨の價格を大體に於て其の步調を一にするを要すべし故に若し葉莨の暴騰の主因が葉莨の輸出にあるに於ては之が輸出の制限を要すべく若し又生產不足に在りとせば外國葉莨の輸入を爲し以て價格の平衡を保つの要あるべし既に葉莨取扱業者中多量の外國葉莨輸入の計畫を爲しつゝあるものあるが如し然れども本年の生產葉は上述の如く假令平年作に比し二三割方の減收とするも**耕作の擴張**は之が補ふて優に餘りあるべく[illegible]需給の調和は[illegible]故に耕作者及賣業者共に目前の利益に走ることなく善く需給の情勢を觀察し[illegible]的ならしめ以て將來に於ける健實なる發達に資すると共に不側の損害を招くが如きことなきを期するを要すべし

鮮滿片々

平壤木炭下落

薪炭需用期に際し本年平壤の燃料は電興會社の副業たる煉炭製出及び個人經營の私製煉炭所の增加に由り昨年の如く市場に品薄を見ることはない模樣であるが數日前から木炭は貫二錢方の低落を告げ氣配尙軟弱を示して居るのは地方よりの出廻の增加によるが其原因は過般の旱害の爲め農民が薪炭製造に從事した爲めであると云ふ(平壤)

咸南虎疫蔓延

咸鏡南道に於ける虎疫患者の總數は初發以來生死合計百名に達したが患者は主として海岸沿線の各部落に多く就中虎疫の系[illegible]

英同盟罷業と供給炭問題
我歐洲配船變更せず

英國內に於ける鐵道從業員同盟罷業の結果交通機關杜絕せるを以て船舶供給炭の出廻りも甚に不可能となりし故米國船舶の中止管理船は既に倫敦配船の中止を發表せるが郵船も郵船五六隻商船二隻社外船十四五隻は倫敦埠頭荷揚へと給炭不能のため

空しく繫船

狀態となり居れるが同國は殊には地中海なる艦隊給炭地たるマルタに於ける供給を中止し更に最近古倫母及び今亦倫敦に於ける船舶供給を禁止せるが此れに對して詳細なる事情判明せざれど絕對的のものには非ざるべく多分次港迄のものに制限せしものなるべし蓋し郵船商船にては罷業は餘り長日月に亘らざるべしとの觀測の下に配船を變更せず從來通り配船することに決定し居れるが若し罷業永續を見んには從來船の燃料補給地は新嘉坡、佛領チブチー、蘇士、ポートセット、馬耳塞、ジブラルタル、倫敦、カーヂフなりしものなれど右の內カーヂフ、ジブラルタル、ポートセットは英國の船舶貯炭所なれば本國山元の出廻り

不足の結果

は軈て大[illegible]各地の船舶供給炭は貯炭の減少と同時に勢ひ制限或は一時停止を見るに至るべく社船は新嘉坡、孟買或はデアチー、ヘリームにて往復の燃料炭を積載し航行を繼續し社外船は[illegible]供給を受け[illegible]船の歐洲配船は之が爲め變更するが如き事なかるべし(東京)

歐米勞働者の三主張

◎歐米各國に於ける勞働問題は實に吾人の豫想以上に屬し到底本邦に於ける勞働問題と同一視する能はずと雖も世界の經濟界が戰後如何に恢復すべきやは自から勞働問題の解決如何に俟つ他なし現在歐米各國に於て主唱せる勞働者の主張は大別して之れを次の三主張なりとす◎其の一は最も過激に亘るものゝ主張にして資本主の手より其の業を奪ひ自ら經營し資本主は單に一定の全利を收得するに依り滿足すべしと云ふにあり其二は利益分配の恩惠的を排すと共に資本家の採算を外とし利益の如何に拘らず二割乃至三割てふ一定の報酬を獲得せんとするに在り第三は資本家の利益壟斷の爲め國民の負擔を增加せしむる彼の鐵道、船舶及び礦山を國有に移し勞働者中心に之れを經營せんとするにあり◎第一の過激主義が勢力を得れば之れ世界の秩序を破壞するものにして容易に實現を見るべく[illegible]戰時中英米兩國が交通機關たる鐵道海運及石炭の管理にして今尙ほ一部管理を繼續しつゝあるを幸ひとなし之等の事業を先づ國有に移さんとする議論沸騰しつゝあり◎斯る大勢に依つて見るも勞働問題を除外しては如何なる經濟問題をも論議し能はざる事にして即ち造船、鐵工、紡績、荷役、港灣、航運悉く之れ勞働者の協調に俟つの他なく現に歐米各國の罷業頻出と同時に海員荷役仲仕の罷業に多大の打擊を被り居れる有樣なるが根本的勞働問題が如何に解決せらるべきやは茲に斷定する能はずと雖も來るべき華盛頓勞働會議の如き講和會議以上に紛糾を極むべきは明かなる事實にして其解決如何は總て世界の一大革命を惹起せざらんとも計り難き問題なり(大阪より)

晉州の秋蠶

晉州郡に於ける秋蠶は益々隆昌にて春蠶の如きは當販賣豫想高の二倍に達したが秋蠶も九月末日迄の販賣石數は九十五石餘に上つた販賣價格は最上十三圓三十九錢最低六圓二十一錢唱へて居る(晉州)

府營評價會

釜山府廳にては渡船及び淸潔事業の府營に就き夫々評價委員を推薦して兩事業の引受けに就き評價中である何れ從來の經營者にも不利益なく又府にも損失ない相當評價を得るであらう(釜山)

虎疫と漁業

虎疫の蔓延に伴れ元山灣內に於ける漁撈禁止の結果を聞くに灣內で漁獲される魚類は僅少で隨つて其影響は極輕少であつたが灣外で釣針を使用する釣小鰤、鰈などの餌は全部灣內から採つて居た爲め漁業禁止されると共に其餌を採る事を得ず一般期待した小台本の釣漁は全く駄目となつた釣漁業者は頗る打擊を蒙つて居る(元山)

撫順運炭順調

撫順出炭は虎列拉の終熄と農作物の收穫も終末に近づいた爲め採炭苦力の補充は幾分容易となつたので今は一日三千噸位の出炭を見るに至つた又石炭輸送も順調で各貯炭場の貯藏量も日々增加の一方である故今冬の石炭供給は頗る潤澤であらうと(大連)

仁川商業會議所正副新會頭
漸く推薦を終る

仁川商業會議所會頭問題に關して加來河野兩正副會頭とも就任の意なきを以て白神專一氏を會頭に阪倉伊平氏を副會頭に推薦する事に決したり(仁川電話)

鮮銀券週報

九月二十八日より十月四日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は左の如し

總發行平均高	一二九、九八三千圓
制限外發行高	一九、五三八
正貨準備	五四、四五四
保證準備	六九五、八
週末發行高	一二〇、七二三

有樂町より
東京支局

▲朝鮮に關する或る種の報道を掲載した爲に卅日の都下八新聞通信で發賣禁止を喰つたものがある中にも角從來朝鮮問題に就ては內地の言論機關に對して其遣り手心が比較的寬大であつたのが近頃模樣が變つて大分嚴しくなつて來たことは窺はれる是れは果して何を暗示するものであらうか▲海軍では今次の大演習は未曾有の規模で擧行されるので勇み立つてるが陪觀者にとつては此頃の海軍演習は頗る呆氣ないものださうな▲夫は統裁官の下に無線電信で間斷なく來る情報によつて略大勢が決して了うので砲火閃く接戰はあまり見られず稀に偵察艦が一隻方を通るのを見る位のもので▲其上情況不利と見た司令官は艦隊を安全な場所へ引張つて行つて中々出て來ないので統監部でも演習計畫が齟齬し隨分手古摺るさうだ▲今年は山下大將の對手が旋毛曲りの黑井中將なので何んな幕を見せるかと統監部の金モール連が樂しみにしてるさうな

○朝鮮容器合資會社 水川啓三郎外十名の發起に係る朝鮮容器合資會社は資本金四萬五千圓にて鉛壜、空罐、叺、麻袋の製造販賣を目的とし十月五日付其設立認可の申請をなしたり

○不二商業會社增資 不二商業株式會社(本店群山)資本額變更の件は十月三日附許可ありたり右は從來の資本金十萬圓を今回二十萬圓に增資したるものなりと

叙勳

左の通り今回總督府職員に對し定期叙勳の御沙汰ありたり

正五位勳四等 石川正
同 關口半
從四位勳四等 朴重陽
叙勳三等授瑞寶章
從五位勳五等 栗原忠恕
正六位勳五等 石井豐吉
從五位勳五等 木田常吉
正五位勳五等 武田信七郎
從六位勳五等 黃信泰
叙勳四等授瑞寶章
從六位勳六等 西村養夫
正六位勳六等 川鍋鐵馬
從五位勳六等 寺川三藏
正五位勳六等 靑木戒三
叙勳五等授瑞寶章

人事消息

▲李角忠南道知事夫人 一行五名は六日夜釜山入港連絡船にて上陸直に十一時列車にて北行(釜山特電)

鳥瞰錄

大隈侯の退隱說はお人柄丈けに人目を引き大分評判になつたらしい▲地方からは頻々と其眞否を問合せて來る中に若し退隱と御決定ならば記念の爲お寫眞を一葉戴きたいなど云つて來る者もあるとか▲元來隈侯退隱問題は何處から出た者か地方では評判の高い丈けで中央では問題にして居ない▲御本人は病氣もなく近來元氣益々旺盛で退隱の事など聞く者があると例の口を突き出して▲吾輩は一身を陛下に捧げて最後まで御奉公をする積りであるんである▲此決心は一貫して渝らんのであるんである之から益々活動するんであるんである▲こあるんであるんである▲と勃發して訪客を煙に卷く大氣焰は却々退隱處の騷ぎやあないらしい▲元氣と云へば近頃頓と名の聞へぬ河野磐州翁の元氣は相變らず若い者を瀉かせて居る▲先達ての縣會選擧應援に郷里へ歸つた時なぞは若い者が一日三四回の演說で屁古垂れてるのに▲磐州翁はあの高齡で一日六回の演說を平氣でやつて一同に舌を卷かせて居る

東京株式 六日後場(曇り) 中限 先限 [illegible]

京城ニ
自動車
講習所開設
十月十五日開始
二ケ月卒業
▼全學資金百三十二圓ヲ納スレバ何人モ入學ガ出來ル
▼此學資金ハ內地ニ遊學スル旅費ニ過ギヌ
[illegible]
教授ノ方法 [illegible]
規則 [illegible]
東京自動車學校
京城講習所
京城府黃金町三丁目角
振替口座京城七一八八番

電話賣買 有物 本町二丁目釘本橫
電話八五五番
吉田屋

正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ
△帝國大學病院各府縣立病院御採用▽
好山醫學博士阪井醫學博士堀內ドクトル都築ドクトル實驗推奨
▲本劑は人体肝臟中に含まるゝ蛋白鉄化合物と同性同態にして容易に吸收同化せられ造血機能並に榮養上に强力なる作用を呈し食慾を進め精力を盛んにす
▲本劑は貧血性諸疾患並に神經性及呼吸器系諸炎患に對し適應せる種類を用ゆれば其効殊も顯著なり
▲試に說明書を見られよ本劑の成分作用效能効用を明かにす
各種共二五〇瓦瓶入 凡ソ中ケ月量
種類 ブルトーゼ キナブルトーゼ ヨードブルトーゼ アルゼンブルトーゼ グアヤコールブルトーゼ
說明書進呈 各地有名藥房に販賣す

發賣元 大阪道修町二丁目 東京本町四丁目 藤澤友吉商店

流行に遲れずキチンとしたスタイルは
代理部へ

□甲號……金八十五圓
□乙號……金七十五圓
□丙號……金六十九圓
見本御請求次第送呈ス
京城日報社 代理部

本年の冬服は是非共信用ある
代理部へ

明太の子 產地特約入荷
みかん 十月中旬早生物入荷
果實、野菜、海產物、雜穀、委託賣買
貿易問屋
京城南米倉町市場
㊗ 岩城商會
振替京城一〇〇六番 電話八四二
蓬萊生命保險會社代理店

安全なる
理想的 利殖機關
既往四ケ月間の利益配當
六月分 金五圓廿五錢(年十一割五分)
七月分 金五圓廿四錢(同)
八月分 金四圓〇五錢(年九割七分強)
九月分 金四圓八拾五錢(年十割七分)
特色 每月一回必ず利益配當を爲す 公債株券を以て代用出資を歡迎す(時價の八掛)
特典 十月廿日迄に出資の場合は十月分利益全額配當
入會の好期 [illegible]
規定入用の方は二錢切手封入申込あれ
大阪市北區梅田新道交叉点
大阪信託社利殖會
電話北九七八 振替大阪八一四七番

大東京山本製大印インキ石版活版機械及石版印刷材料
火災保險株式會社
いろは足袋
蓬萊生命保險相互會社
京城代理店
京城本町三丁目
今藤富國太郎商店
電話三九〇

[illegible]……二年に於ては約五百萬圓（二割）……して芝罘地方に於ける鮮人數多りて幾分增加を示したるも尙二……さりしが戰前以來……移出せられ居るが尙ほ本邦品、時期に至りても尙今日の販路……

一四七、五〇〇　三、五〇〇

下關期米報告

爆彈事件 犯人の自白

兇行後觀念の眼を瞑つて居たが捕へ手が無いので悠々引揚げたと豪語す

爆彈事件犯人として平南德川生れの姜宇奎なるもの逮捕されたる事は夕刊所報の如くなるが犯人姜宇奎が自白する處に依れば姜は兇行の當日現場で總督の馬車を目覓けて爆彈を投擲するや靜かに瞑目默禱して逮捕の手の下るを覺悟した軈て轟然たる爆音を聞き一瞬の後眼を開いた所殘念にも爆彈は的が外れ目的を果す事が出來なかつたので無念遣る方なく再び觀念の眼を閉ぢて逮捕を待つて居ると誰か耳許で逃げろ〳〵と云ふやうに聞ひた然し自分は格別逃げやうと云ふ氣も起らず悠々として旅宿に歸つて來た其途中誰か自分を尾行して來るものがあつたが間もなく見失つて自分は其後鬚髯を剃つたが是は人相を變る爲に剃つたのではない自分は國士であり志士であるから逃げ隱れもしなければ人相を變へる必要もない云々尙姜は警察署内に於ても絕えず國士を氣取つて傲然と構へ檢事局に於ても赤燧面もなく過激の言辭を弄し殆んど誇大妄想狂に近き態度ありと

呑舟の魚を殲滅せん 不逞の輩はビシ〳〵遣付る

警務局長 赤池濃氏談

爆彈犯人の逮捕を發表したが當局は唯爆彈犯人の檢擧にのみ苦心して居る者でない、其麼小事にのみ沒頭して居るのではなく更に大きな呑舟の魚を漁つて居るのである、一部誤れる思想を抱く不逞の徒が妄動して國權を紊す爲めに多數の鮮人及內地人は非常に迷惑して居るから之等不逞の徒輩の取締は法の許す限り飽く迄

峻嚴に行る覺悟である、總督が德政を布くと云つても其れは眞に皇化に浴する多數良民に對して用ひた言葉で治安を紊す不逞の徒が傍若に放任し跳梁に委すと云ふ意味ではないから當局は充分警務機關の伸張を圖つて之等不逞の徒輩を根本から殲滅して良民を保護し治安の維持に任ぜねばならぬ、從つて朝鮮內は勿論國境以外なり外國なり逃亡者が不逞を謀する何地までも追及して此の機會に乘じて根を斷ち葉を枯らす

大手術を講ずる決心である、古來鮮人の一部には因習的に雷同し易い氣分が潜んで居るから多少峻嚴過ぎるとの非難があつても不逞鮮人の芟除に努めるは一般良民に對する他日幸福の基であらうと信ずる、現に實行しつゝある京城に於る取締の如きも警察官が軍隊憲兵と異ならぬを示すもので、古來から都會の秩序が紊れて偏境に及んだ例が多々あるから京城の取締を嚴にして

範を全道に示のすであるが將來は休肆とか不穩文書の配布とか云ふ問題も極めて敏速に處置して在來の如く手緩い事はせぬ筈である、然し良民に對しては德政を以てするは繰返すまでもない此こそで係く不逞の徒輩殲滅に意を用ゐるも要之一般の安寧を圖らんとするに在る、特務機關も益々充實して行くから全道各地にも京城に於る如き完全なる警備を施す事が出來やうと信ずる

爆彈犯人發表　六日京畿道第三部にて

姜の身柄は檢事局へ 先月廿九日廻つて來た

鄉津檢事正談

爆彈事件の犯人に關して發表があつた點であるが何しろ事件は尙檢事の手許で取調べ中で眞犯人だと云ふ決定は未だ與へてないのである、姜宇奎が檢事局へ來たのは九月二十九日午前六時三十分で爾後境檢事が係りとして取調べてゐる犯人は一應兇行を自白してゐるが何しろ物的證據が一つもないので眞犯人と云ふ斷定は容易に與へられない

一癖有り氣な面魂 爆彈犯人に相應はしい

境係檢事談

まだ取調中であるから果して眞犯人であるかどうかは言明出來ないが然し姜は人品骨格から云つても態度風采から云つても爆彈事件の犯人に相應しい、確かに大事件でもやりさうな面魂である之れだけは私として證言が出來る

眞犯人と推定する 警務當局は

千葉三部長談

今日（六日）發表した爆彈事件の犯人は確に眞犯人であると斷定するより外はない、之は裁判の確定に俟つより外はないが然し警察として本人の自白と四圍の事情に依り眞犯人だと推定して檢事局に送致した次第である。犯人を逮捕する迄には警察と憲兵隊の應援に依る事は論であるが又一面に於て警察官吏事務者が不眠不休連日に亘つて努力した賜物である。云々

白い髭と周衣 犯人を追跡した三云ふ列車ボーイ 犯人の人相風態を語る

爆彈事件當日現場に在つて親しく犯人を目擊し直ちに是を追跡したと云ふ滿鐵京管局列車給仕果（二）は犯人逮捕の報に接し愉快に堪らないと前提して語る『私は當日非番だつたので新任總督の威容に接する考へで五前から喫茶店入口附近の積み煉瓦の上に見て居ました、自分の所には

約廿人位の見物が折重なつてゐましたが此中に怪しむべき犯人が居やうとは思ひも寄りませんでした、犯人は爆彈を投げて了ふと暫らくジッとして結果を見て居るので自分は堪らなくて飛び出し直近くの一巡査に『犯人が此處にゐる……』と耳語しましたが此巡査は『部長に云つて呉れ』と云つて犯人に近付かうともしない私は『間違つてもよいから捕へなさい』と云つたのですが件の巡査は唯ウロウロしてゐる丈でした。犯人は

顏色一つ變へず結果を見て了ふと群集の後に姿を隱したので私は殆ど無意識で犯人を追跡しました犯人は群集の中を悠々と南大門通に出て群集と塔列兵との後、即ち人道と車道の境にある溝に沿ふてあるき出したのです、丁度此時にワッと云ふ叫び聲と共に群集が散亂したので、殘念にも遂に見失つて了ひました、犯人の人相風態は年齡五六十歲位白い鬚のある人で顏青白く周衣を著て右手に

蝙蝠傘を左手に手拭を提てゐました、私は一旦犯人を見失つたもの、屹度其處等に居るに違ひないと思つたので南大門通りを北行すると御成坂を降りて來る男がある、好く見ると意外にも是が件の犯人でしたが何うしたものか周衣をビリ〳〵と破つてゐました。よし來た！と思つて又々跡を付けて朝鮮公論社の少し先迄來ましたが此時は最う犯人とは可成の距離を生じたので止むを得ず附近に

警戒中の一巡査に是を訴へました處其の巡査は笑つて『南大門には巡査も憲兵も澤山居る、事が起れば彼處で捕へる筈だから……』と云つて取合ひませんでした、

光瑞氏 近く來鮮せん

去る五月より南洋セレベス島に農場經營中なりし大谷光瑞氏は近く大連に來り前田彈水氏と會見の上朝鮮民情視察の爲め本月下旬來城すべき旨隨員の一人より通報ありたり

帝展出品 總數 三千七百點以上に達す

五日午後十一時三十分を以て帝國美術院展覽會出品を締切る、總數、

日本畫　二千三百五十一點
西洋畫　一千二百十五點
彫刻　百六十一點

避暑地投票二等當選地 海雲臺温泉 (8)

完備した各浴室 大浴場は大正六年の竣成

同温泉の泉質は鹹類泉に屬し東萊温泉に比し鹽分が強く、固形分の含有量が豐富で一種の泉香がある。温度は湧出口で華氏の百廿六度、浴槽入口で百十八度である。泉井は十二箇所で深さ各五十尺乃至百八尺位であるが

目下新浴湯に配泉して居るのは此內の五箇所である。さて浴場の設備であるが現在の浴場は總延坪百四十三坪で大正六年八月に竣成したものである。建物は和風平家建瓦葺で間口十九間奧行七間、左右に玄關を設け左玄關は普通浴場へ、右玄關は上等湯及び家族湯に通じて居るの中

家族湯は浴室が二つあつて各四坪位の中に一坪弱の浴槽二ツと上り湯、砂湯、水灑等があり各三坪の休憩室兼化粧室にはベンチ及び安樂椅子等まで備へつけてあるなど家族湯としては完備して居ると云ふを憚らない。

上等湯は家族湯と九尺の廊下を隔て、男女にわかち各七坪の浴室內に一坪の浴槽の外に上り湯、砂湯、水灑及び休憩室兼化粧室は男七坪、女三坪半である而して家族湯、上等湯共に浴室の全部花崗岩を以て敷き詰め腰は內地の硬質陶器張瓦の乙瓷であるから頗る綺麗で氣持が佳い。

普通湯は左玄關から入つて男女左右に分れ、甲湯は浴室二十七坪の中央に幅二間、長さ三間深サ三尺五寸の大浴槽があり別に上り湯、砂湯、水灑の設けもあり八坪の休憩室も添ふて居る。女湯は二十五坪の浴室に幅一間半長サ三間、深サ三尺五寸の大浴槽を有し男湯と同じ諸設備が施してある。而して此の

大浴槽には透明の湯が滿々と湛へられ、一寸泳ぎの真似位は出來るほど廣さを持つて居り、何よりも愉快である。然し『温』は湧出の力が弱いので電動力に依つて喞筒室から十數間を距てた各浴槽へ配泉することになつて居る。

滿洲の虎疫 漸く終熄 國境檢疫撤廢

七月以來滿洲各地に發生し日に百名の死亡者を出だしめ居たる虎疫も其の筋の防疫委員の熱心なる努力効を奏し漸く終熄の曙光を見るに至れりさしもの猖獗を極めたる奉天營口地方も今や全く終熄し營口は一名の新患の發生を見ず滿洲海城の如きにては既に第二第三期隊の守備隊にては既に第二、第三期隊防法を解除し遼陽鐵嶺の如きは全く終熄の狀態にあり撫順は猶ほ微を廃かざるも支那側にては既に終熄を認め防疫事務所を閉鎖するに至り猶ほ樂觀を許さざる地方は大連旅順關原安東等にして大連は患者の發生著しく減少し一日の新患者三四名に過ぎざるも屍體の遺棄甚だ便宜の忌避依然として存し安東のみは日に五六名乃至十名の新患者を出だし終熄の模樣なけれど大體に於て略終熄に近づきつゝあり

國境檢疫撤廢 右に付て國境檢疫存置の要なければ其筋にては七日限り之を撤廢し八日より列車の運轉は久し振りで復舊を見るべし

在滿 不逞鮮人增長す 良民を捉へて私刑を行ふ 支那官憲、嚴重に取締る

滿洲地方を視察し歸來せる某將校は六日軍司令部樓上に於いて語る『在滿鮮人の移住し來るもの夥しく中には全村鮮人を以て組織されてゐる地方もある、每月滿洲地方に流れ入る鮮人の數は非常なるものである

其原因は素より朝鮮に於ける生活の艱難にもよるが滿洲では比較的水田經營の善良なる鮮人に對し支那官憲が好意を以て迎へるからであらう、併し之に不逞の徒も尠くない今は南は上海方面より北西は利地方或は間島方面より入込める不逞の徒もあつて種々何等かの

計畫してゐる形跡がある、奉天附近には不逞鮮人に對し支那官憲の取締が嚴重な爲め何等手出し出來ないらしいが少し奧地の鮮人村に入ると各所に不逞鮮人が出沒して善良な鮮人を脅かしてゐる。私設の裁判所を設け

暴力を振つて金員の徵收を企圖し若し是に應ぜざるものあらば私刑を加へる等横暴至らざるなく到る處怨嗟の聲が高い。一時不逞鮮人から惑はされ民族自決、國權回復、大韓民國獨立等を夢見た連中も此頃では後悔し支那官憲に訴へる事にしたさうだ支那官憲でも出來る丈是等不逞の徒の

指彈の質を擧ぐべく努めて居るが鮮人に對しては千余懇篤に保護する事とて鮮人の平穩では然りても影を收めるだらうが滿洲奧地の方では不逞鮮人に反抗した許りに私刑に處せられた鮮人が頗る多いやうだ云々

少女の縊死 新町第一樓の女中 樓主の胤を宿した爲め

秋雨寂しき五日午前十時頃南山忠魂碑附近府廳の常傭人夫某なるものゝ巡邏中松林內の栗樹の枝に紅の扱帶をかけて若き女の縊死し居たるを發見し直ちに新町派出所に屆出でたれば本町警察署よりは係官醫師出張檢視したるが右は慶尙北道某郡某面某村當時新町遊廓十三番地第一樓主沖田佐市方雇人吉熊まよ（二七）と云ひ昨年末第一樓の女中に住み込み現在に至りしが去る四月子を宿し主家を家出し目下行衛搜索中の者なりしこと及び覺悟の自殺なりし事判明し死體は樓主に引渡されたるが原因は樓主の亂行を女將に感附かれ口汚なく叱責されしより狹き乙女心の思案に餘り斯くは一筋に果敢なき覺悟を定めしなりと

北鮮大荒れ 被害夥だし

元山方面は四日夜來より暴風雨の爲め元山驛構內約二寸浸水し又安邊驛附近の線路も浸水一時は列車の運轉に故障を生ずるに非ざるかと危惧したるも五日午後三時に至り漸く減水するに至れり又咸鏡北部海岸一帶に於ては電柱の倒壞五箇所に亘り被害尠からざる模樣なり目下取調中

艀渠內に 潜水艦は 見物は第二通用門から

仁川入港戰利潜水艦は艀渠內西北隅の岸壁に繫留し見物人の爲めには西側岸壁に南北に横付けし潜水艦は之れと直角に曲つて北側岸壁第一倉庫に添ふて

東西に横付することゝなつてゐる一般觀覽者の出入通路は先づ稅關に下車し、穴門を拔け一直線に築港埋立地を下つて突き當つた第二通用門で健康狀態の外診をする、築港內に這入ると艦の繫留岸壁には約五尺幅の嚴重な繩張を混雜と危險とを防止する爲め警察官は繩張內の秩序維持に努め岸壁上は一列に進ませ安全に脚下に繫留した潜水艦を充分觀覽する事が出來る樣になつて居る

そして觀覽を終ると繩張外に出で再び第二通用門の一端から外部に出る正門其他は荷物運搬に支障を來す恐れがあるので絕對に通行を禁止する事にしたが、狀況を觀覽し得るやう閘門附近更に築港閘門の設備船舶出入の空地を開放して自由に通行なしてある此の空地內に本社は特に無料休憩所を設け其他東拓員の休憩所飲食物或ひは救護班等の設備が出來る

觀覽券所持者は岸壁上から艦の甲板へ渡した棧橋を通つて艦內を觀る事になつてゐるが何分一時に多數の人員を收容する事が困難だから相當の待合せ時間を要す觀覽順位は努めて公平を期す筈であるが最終は午後四時頃迄待たねばならぬ不幸者もあるのは免れない兎に角本社の觀覽團隊は一應本社休憩所に入り待合せ本社の指揮に從つて貰ひたい

壯絕を極めた柔道大會 講道館支部の一週年記念

講道館朝鮮支部創立一週年記念柔道大會は五日警務官講習所道場に於て擧行された定刻たる午後一時前後となるや微雨を冒して集まるもの數百、差しもに廣い道場も立錐の餘地なく見物は戶外にまで溢れ人山を築いてゐた正一時少年組の紅白試合に入り七五三張り廻した道場では龍攘虎搏互ひに秘術を盡くし一番毎に拍手が起り殊に投げの鮮かな手が極まると怒濤の如く拍手が湧く壯烈なる紅白勝負は有段者に入つて更に興味を加へ戰は一變して手に汗を握らせたが紅軍の勝味も白軍主將倉田三段の健鬪によつて敗れ勝利の榮冠は終に白軍に歸し美濃部支部長の挨拶賞品の授與があつて非常な盛況裡に閉會した、

辯護士會問題解決

政務總監へ陳情

京城辯護士中主なる辯護士十八名は去る五日（日曜日）總監官邸に政務總監を訪問して過般來宿題となりたる京城辯護士會問題に就き陳述したれば遠からず解決を見るべしと

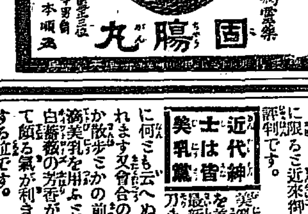
飛降りて重傷

五日午後六時三十分頃新龍山發東大門行電車百十三號が鍾路四丁目三十九番地先を進行中鍾路一丁目より乘車したる氏名不詳二十歲位泥醉鮮人が車掌の注意も聞かず飛び降りて打倒れ後頭部及び前額部に負傷し人事不省に陷りたるより直ちに鍾路四丁目姜某醫院に擔ぎ込み應急手當を施し漸く蘇生したるも重傷の爲め住所氏名を答ふる事を得ず引續き同醫院にて治療中

在鄕軍人總會

在鄕軍人會龍山分會にては來る十二日午前八時より龍山步兵隊射擊場に於て秋季總會を開催すべく勅諭奉讀式射擊に關する注意等あつて後射擊を開始し射擊終了後將校の講話來賓の口演聯隊長及び支部長の訓示加藤會長の答辭あり引續き射擊成績優等者に賞品を授與し正午より乃木式野宴を催し散會すべしと又當日雨天あらば射擊を取止め偕行社に於て講話其他を執行すべしと

朝鮮總督府遞信局 購買組合指定店 和洋書籍雜誌販賣 京日代理部



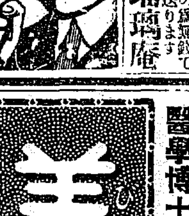
痢病豫防藥 固腸丸 クダリはらによし 鮮滿無盡の特約店に販賣す

大阪屋號 電話…

朝鮮大地圖 特價試圓五十錢 …

▲鈴子の戀 定價一圓三十錢

最新刊 ▲救急法



アナタの胃病にはマーゲン 強胃消化錠 本劑の特色 … 大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

ぢ 痔疾で困難の人は世にも不思議な良藥があります詳報を送ります 瑠璃庵

きんた……はれだつちよう病こう……困難の方は二錢切手封入……特効ある最新藥並に全治法……報す 攝 國尼ケ崎市藤井源四郎

コンナ珍しいものが日本に初めて出來た 醫學博士藥學士合議發明 美乳 ◎白色美人となる不思議の乳劑

美乳の卓絕せる成分 美乳は白粉でもなく化粧水でもなく又クリームでもありません、それ等の有漏れである化粧品とは根本から全く成分が異つて居ります、これこそ斯道専門大家の苦心に依つて新に發見した世にも驚くべき白色劑と珍しき美容の理想的抱合物で新時代の科學の力が隅から隅まで閃き渡つて居ります、美乳ほど美白成分の確實で顯著なものは現代に於て絕對にありません。

美乳の不思議な作用 美乳を用へば皮膚の微細な毛孔を通じて最も完全に其の美白素を吸收し最も完全に皮膚の根本組織を白く美く艶々しくし又柔らかき事天鵞絨に觸る如にする美乳獨特の不思議の作用があります。白粉を塗つて一時だけ白くなつたのは洗へばすぐ剝けます、色の白さも美さも其の生地からでなければなりません、美乳は實に此の新時代の要求から發見されたものであります

美乳の驚くべき効果 既に斯の如き成分と作用とを有する美乳でありますから効果も又眞に驚くべきものであるので之を常用すれば、生地から白く美くなりお年が寄つても小皺の寄る心配なくいつ迄も其の若さを保つ事は勿論年中肌荒を知らず日焦、面皰、汗疹、剃刀まけ等の憂ひ更になく自分ながら見違へる如な美人になります。故に美乳さへ用つて居れば白粉も化粧水も全く要らなくなります。

婦人界空前の大好評 朝夕の洗面の後に必ず美乳を塗る習慣がつくに伴れて從來用つた化粧品と全きり異つて日一日と皮膚の白く美しくなるのに驚かれます殊に湯上の時の美乳一滴は効力を一入著しく又美乳は三分化粧の別名もある位で急ぎの時の化粧には重寶至極、加之何時何處でも自由に化粧が出來て化粧崩れの心配が毫もないから美乳に限ると近來御婦人間の專ら評判です。

近代紳士は皆美乳黨 美乳はホンノリと目立たぬ白さに男子の品格を美しく上品に威儀を向ぶ近代紳士に取りて最新の美身料殊に髭剃の後に之を塗れば剃刀まけの憂ひは絕對になく滲込んでゐるうちに何とも云へぬ愉快を感ぜられます又會合の席へ出る時とか散步とかの前にチョット一滴美乳を用ふと其中に含んだ白薔薇の芳香が香水に代用して頗る氣が利き男が見て惚々する位です。

僅か一瓶で美人となる 試驗はタッタ一週間！

本舖 大學目藥本店 矢野芳香園

みだれ咲き

第百六十六回 島山碧波作 森田久畫

父の使命を帶した飛島井執事の言葉を聽くこ、飛び立つばかりに嬉いた初江夫人は。

『飛島井、夫れではお父樣は私に邸の門を潜らせて下さるのですか』

夫人の双眼は忽ち希望の色に輝き出した。

『左樣でございます、唯今まで御前樣も山中家への義理がありますので、お心にも無い冷い御仕打をなさいました、今日悉しいことを此の御婦人樣からお聞きになりまして、モウ山中家への義理は濟んだ、此の上は一度は親と呼ばれ子と呼んだ山中家を救はんければならんと仰しやつて皆さんをお引取り申すことになつたので御座います』

『まア左樣ですか』

夢では無いかと喜んだ初江夫人は。

『さうすると私と操子だけでは無いのですね』

『左樣でございます、お姫い樣を助けて下さつた親子のお方にも御前樣が改めて是非お願み申し度いことがあるから御迷惑でも御一緒にお入來を願ひ度いと仰しやいました』

夫れを聽いて居たお伊代は、次郎吉こお蝶の二人に向ひ。

『佐藤さん、二階堂家へ行らつしやるのは御迷惑でせうが、さうする時には娘さんの敵討と云ふことも堂々とやれますから、遠慮をせずに行つたら宜いでせう、宿は餘り出過ぎたやうですが、御前樣とはモウお打合せが濟んで居るのです』

お蝶は睫眼へ兩手を置いてお伊代の言葉を聽いて居たが。

『私も若樣にも是非お目に掛り度いと思つて居たのですから奥樣さへお差支が無ければお同伴をさせて頂きます』

『私は少しも差支はありませんからどうぞ一緒に行つて下さいまし』

こ、云つた初江は飛島井執事の方へ膝を向け。

『然し今からでは宿屋へ氣の毒ですから明日の朝にしませう』

『イヤ其のことも考へて居りましたが宿賃さへ拂つて參れば宜いのですから今夜の内にお歸り遊ばせ』

飛島井執事は自分の使命を完全に果さうと思つて頻りに其の夜の内に二階堂家へ引上げることを勸めるのであつた。

『どうしたもので御座いませうか是れから參りませうか』

初江夫人はお伊代の意見を訊いて見た。

『奥樣、幾ら夜更けと申してもまだ十二時を過ぎたばかりで御座います、お邸では御前樣がお待ち兼ねでせうから直に參りませう』

『夫れではお言葉に從つて是れから引上げませう』

初江夫人は手を叩いて女中を呼び、俄に出發することを告げて仕度を始めた。

『毎度有難う御座います』

翌朝までの勘定を拂ひ、然も多額の茶代まで帳場へ與たので旅館の者は吖嗟に送り出した。

『お母樣、丸で夢を見て居るやうですわね』

操子は自分の身體に自由を得たのみか、其の實家へ出入の出來なかつた母親こ共に、弟の引取られて居る二階堂家へ行くのを心から喜んだ

『本當に夢 やうだわね』

夜の更けた都大路の闇を、ヘツドライトの光りで照して行く自動車は、本所を後にして三十分の後には、警笛の聲さへ勢よく二階堂家の門へ潜つた。

『あらッ……』

藝妓らしい若い婦人に手を執られ、醉歩危げに二階堂家の門前を行き過ぎた紳士が、此の光景を眺めて此處へ立ち停んだ。が此紳士は山中家の惡執事松田芳三郎であつた。

大學キャラメル ミルクチョコレート
夏期に安全優美高尚滋養に富む

懸賞川柳(四) 劍花坊先生選

秋の風

有金が盡きて二人に秋の風 鍾南浦 可散

鍼灸 濟生堂 玄斟 藤井百太郎 入院隨意 本町三丁目

京日 紙上俳句會 ＝出句發表＝

白服の巡査に寒い秋の風 新義州 樂海
井戸側にちよこ〳〵寄る秋の風 京城 [illegible]
秋の風自炊の男詩を作る 京城 弓八郎
無一物欠伸の口へ秋の風 京城 [illegible]
外米をとぐ井戸端に秋の風 京城 白人生
百姓は二百十日で米の飯 エ二〇 久純
條約の批准せぬ間に秋の風

▲砧▼

旅に暮れ砧を當ての野道かな
天地の寂を打ち出す遠砧
遠砧部落は更けて音更に
疲れし子なりツトセ〳〵打つ砧
うさ〳〵と老も聞き入る遠砧
川舟に痩せし女や遠砧
時に寂む女砧かな
水砧そこら這ふ蟹踊れて逃ぐ
瞬より誘ばれ遠砧打つ淋し
さなきだに身にしむ音や遠砧
月に打つ砧淋しく旅の宿
月さして睡が家淋し砧かな
砧打つ母は寢る子に笑顔かな
夢に聞く砧の音や旅の空
端居して月に打上く砧かな
奸越しに二挺砧や高麗部落
嘆の波に碎くる砧かな

亡母な夢み覺むれば遠き砧哉
旅に暮れ行く史の里に砧かな
砧なき幾夜ぞして村砧
北里の狐だましや小夜砧
水白く月動きけり砧かな
山寺や何處ともなく遠砧
病妻は砧の香に吐息かな
滑き出でて砧に遠き夜釣かな
山越にて嫁ぎたる里や砧唄
做さならぬ世と愁ふ夜や遠砧
負うた子に母の乳飽る砧かな
行き暮れて砧の繁き里に入る
砧聞く灯點し頃や土手の家
砧頻る古驛の雨や宿りけり
遠砧旅愁稍々淡き山の宿
山を背に村黃昏れし砧かな
川を隔てゝ散點す家砧打つ
砧打つ夜な〳〵聞る風しるべ
細き灯を棚に母子の砧かな
見ぬ君に心通ふや初砧
また調子外れや今宵初砧
五年振り師と語る夜の砧かな
暴風雨する夜も休まぬ砧かな
灯さで月待つ袖や砧打つ
無意識に小き打ち止む砧の手
戰勝の民を息ふにして砧かな
調子まで垢拔したる砧かな
千砧の香聞く秋や砧かな
砧打つ音は夜襲の嵐かな
尼寺な開けば砧な數へらる
京の府も流石白衣の砧かな
大吠の間々に聞ゆる遠砧
旅籠の鉦の音やみて小夜砧
月天心砧の町の家低し
賤の女の夫待ち佗ぶる砧かな
砧打つ鮮女聊かの住居かな
砧更けて机上靜かに遠砧
家毎に調子に更けて砧かな
何事も嫁にまかして砧かな
砧打つ姉の一家や音の澄む
月冴えて砧の音や魚躍る
船おりて砧の家や畑近し
松葉萸夕日に歸る砧家
砧打つ亡き姉思ふ今日の暮
砧打つ音なりやみて梟鳴く
闇の中耳な澄して砧かな
砧打つ娘を見たり柴の戸の中
小夜更けて枕に近し打つ砧
砧打つ夜は五月雨の眞中なり
貰ひ乳に兒は眠れども砧かな
惡夢なりし破鏡の歎や砧の夜
砧打つ灯に來て落し蟲一つ
破鹽に砧の人の影淡き
砧遠く近く旅愁しき夜や
小夜砧世帶やつれの妻淋し
鐵瓶の松籟に座すや遠砧
細うすく老の香替の砧かな
數々の思案打込む砧かな

口巧者の御賣り來居る砧かな
四手打ちそつくれんこ長煙管
我は米搗く妻は擣つ砧かな
夜なにこめて擣つや砧の賃仕事
琴に惱み更くる孤燈の砧かな
非戰の去つて雨夜の砧かな
砧聲を聞きつゝ空想の夜長哉
訪れに乙女砧の腕休む
月冴えて冷き秋の風砧かな
時に消ゆ砧の音や後淋し
餘處の打つ砧聲きて夜の寂さ
砧打つ女房や主の歸り待つ
近く寄れば家の庵や小夜砧
更くる程月も暖の音に澄む
月にのみ更すでもなき砧かな
尼寺は朝な夕なに砧かな
月天心到岸の一村砧哉
山姥の路路に與あり遠砧
山里の灯淡し小夜砧
伊勢國名か得し村の砧かな
打續く砧や月のあるかぎり
片膝は寢た子にかして砧かな
砧明にもや樂を搗く姥がや
夜習終へて砧に對す姉妹かな
小夜砧おの目近き夜なりけり
寂し兒に膝を貸けて砧かな
煙茶の姿はやさし里砧
せゝらぎや耳に更ゆく遠砧
夜も更けて砧亂るゝ小家かな
紫月冴すや妻の類根や霧砧
砧打つ鮮女のせなや月白し
月更けし潮へ鬱かす砧かな
遠き易き油差しけり砧の灯
遠砧山莊は風落ちにけり
雨の夜は寄吟に更けて砧かな
大河隔てゝ砧の幾里かな
錢雜な街を離れて遠砧
月落ちて窓より洩るゝ砧哉
入る月の里は砧の音絶ゆて
賢母良妻の村こゝ燈や小夜砧
亡妻の夢醒めて砧骨に沁む
綾巻く砧や主は寢ごと乞ふ
砧やめて時計見入れる女哉
精妹の妻健にして砧哉
行く雁の聲に砧の手を止め
母一人娘一人ありて砧哉
月冴えて里靜かなり遠砧
宗村の夜の暇ひや小夜砧
砧打つ前の家では讀書哉
又音ふさ頻赤らめて砧かな
砧聽くて小雨に思ひ比ぶ
空高く水澄む里の砧哉

砧打つ乳房爭ふ嬰兒かな
誰が母か四更に近し遠砧
捨て來し子を捨て切る小夜砧
勤勞は旅に寂む北里の砧かな
夫は旅に妻は留守居の砧かな
明かせたや鮮人砧の書香器
立戻り妻の砧をこめにけり
砧打つ母近かく乞兒の膝
古驛のいつか落ちたる砧かな
話あぐみて夜の靜けさ砧打つ
亡き兒想ふ枕にひゞく砧かな
霜冷ゆる夜の底響く砧かな
頻すくもて月に歸るや小夜砧
續く日の砧の長し秋の風
機械的寢耳響る鮮砧
水底に月は動かず遠砧
子めば谷に山彦す遠砧
風落ちて街泡に澄む砧かな
小松多和遊ゆれば月の砧かな
渡場に船頭あらず遠砧
醉ひ醒めの水に聞ゆる砧かな
行き迷ふ山路近かに砧かな
路近く汐待つ船や砧きく
里娘の思ひ耽ら打つ砧かな
砧やんで月に一村更けにけり
旅枕烈ふ傍や小夜砧
惡疫に夜の町淋し遠砧
遠砧默り合ひけり鏡建齋こ
安錦にこの聖難れて砧かな
里ゆ里響く砧や高麗日和
雨の夜の音や砧の遠くして
白米の騰貴愁し砧かな
新しき岡廊悲し小夜砧
子は床に妻また伏せり遠砧
離れ家に一人淋しき遠砧
一つ家にきれ〳〵の砧かな
遠砧昔夢少なきまゞゐ哉
文盲に悔あり月に砧哉
砧打つに又聞ゆカンテラ灯
砧女の腕の綾の太さ哉

小姑特つ姉悴ふ砧かな
さま〳〵の思打込む砧かな
打つ砧行燈の灯の小さく搖る
親こ娘こ調子合せて砧かな
遠く近く砧聞く夜の夢うつゝ
旅の兒の病める便りや小夜砧
宿かへて眠れぬ夜や砧冴ゆ
母こ打つ娘の砧や香小さき
姉妹らし灯さで月に砧打つ
古里も同じ月かよ遠砧
打つ人もあるに鞍で聞く砧哉
歸省して母の無事知る砧哉
月落ちて單騎旅行や遠砧
妻を待つ雨夜に砧の遠音哉
京の宿臨の娘の砧打つ
調子よく谷間に高き砧かな
何さなく更夜の砧や物さみし
水砧香に集まる小魚哉
暮れて著く彼の里灯砧して
拍子揃ふ筆在せし村砧
其夜のはなし語り續けて砧哉
遠砧秋の深さを怨うなり
砧打つや便器並べて宝狹し
小夜砧紅屋が家の姉妹
佗び住ひ悲しみあはげし小夜砧
二挺打つ砧せはしき鮮部落
我影の可笑しくもあり打つ砧
征人遊りて村は眠れし小夜砧
今の月音の香の砧かな
明月や松にかゝりて砧かな
しんみりと砧きく夜や月高し
小夜更けて聽が伏家の砧かな
旅の子を思ふ老母の小夜砧
蓬窓に聽く漁村の小夜砧
凱旋のたろゝ砧や夫待つ
泣く子をすかせつゝ打つや小夜砧
月照す江畔淋し遠砧
寒村に蟋蟀の斷き明け砧
内房に四手打つ聲澄む明り砧
夜泣きする小家は遠て砧かな
さう〳〵と改造の世の砧かな
佳みつかぬ心にさびし砧うち
遠山は月に霞みて打つ砧
民こめるきさしも見ないて砧哉
水音の高き間に〳〵砧かな
惡征明滅の灯に賦役聞く
月に戻る水の郷砧なちこち
美人系の一郷や月に砧打つ
宿の頭の談し上手や遠砧
田征の留守に妻子の小夜砧
琴の香も砧の音に亂れけり
遠征の留守や砧のしめやかに
懐郷の砧や我こ影法師

新刊紹介

▲鐵道各職員受驗準備完成し節 鐵道俱樂部出版部編著 鐵道院各課長の試驗問題及判任官登用試驗 手送車係機關手電信係等の詳試驗問題に對し解答を掲げたる詳細なる書なり（二圓八十錢、東京牛込早稲田鶴巻町三友堂）

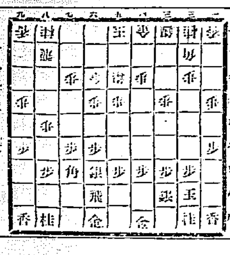
▲勞働世界（四の一〇）勞働問題に關する諸大家の論說數篇あり（一部二十五錢、東京芝愛宕町二ノ共社）

[illegible]

將棋新手合(一)(其一) 満呂木六段評

平手先△(京城)岡本桂二郎(初段) ▲(京城)秋吉富太郎(初段)（於京城旭町白水館迎將棊會席上）

圖は三八銀迄の局面 ▲岡本氏 持駒なし

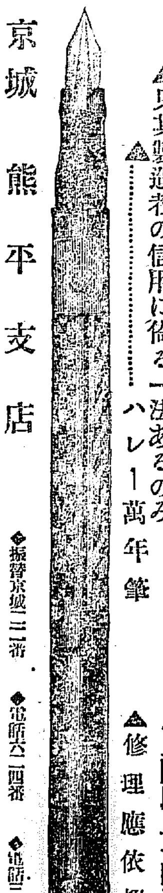


[illegible]

山笹章著 ウツボ屋書店發行
新案獨學 イロハ辞典付
鮮語自在
定價金十五錢(送料弐錢) ポケット形二百頁
上製クロース 定價金七十錢(送料四錢)
發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

日本一 三ほまれ味噌
龍
日本醬油株式會社京城出張所 電話長二四五番

何と言つても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した
悪性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない

▲萬年筆の鑑別は困難なり
▲只其製造者の信用に倚る一法あるのみ ハレー萬年筆

京城 熊平支店
◆振替京城三二番 ◆電話六二四番 ◆電話三三一五番
▲二圓以上七圓迄
▲修理應依頼

御園クレーム
肌が荒れて白粉が斑になる時、又肌が硬ばつて白粉が美しく着かぬ時は勿論、何人も是を朝夕用ふれば肌柔かになり肌理細く、顏色鮮に麗しくなる美顏料なり。
白粉下さしては極少量を指先にて顏に延き其上へ刷毛にて御園粉白粉をはき付くれば洋風の化粧となり、煉白粉を塗れば高尚な和風薄化粧となる重寶の品なり
御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(113)

大阪商船出帆
(仁川出帆) 木浦大阪行 ×信濃川丸 十月十三日正午出 群山、大阪行 ×安東丸
(元山出帆) 櫻城丸 十月十二日正午出
清津行 安平丸 十月十二日後九時出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十月十八日
(大連出帆) 上海、基隆、打狗行 湖北丸 十月七日前六時出 安平丸 十月廿三日前四時出
歐洲行一年四回 北米行毎月一回 南米行毎月二回
御注意 大阪商船株式會社仁川支店
[illegible]

尼崎汽船出帆
共同汽船出帆
日本郵船出帆
五光商會
朝鮮郵船出帆
[illegible]